

平成30年度
若年者のUターン就職に関する
政策提言書



沼津商工会議所青年部
NUMAZU Young Entrepreneurs Group

沼津商工会議所青年部 平成30年度政策提言書

目 次

会長あいさつ	2
はじめに	3
I. 提言	4
II. 提言背景	5
III. 政策提言について	12
IV. 若年者の意識調査結果	18
調査結果の概要	22
データ集	26

【会長あいさつ】

本年度30周年という節目を迎えた沼津商工会議所青年部は、これまで諸先輩方が築きあげられた歴史と文化を伝承しつつ、新たな価値の創造に向かって歩を進め、日々、自己成長、自社発展、地元の発展のために研鑽を積んでいます。

そして、私たち青年部も含めた商工会議所活動の目的は、それぞれの地域の持続的発展であり、特に政策提言はその活動の中心にあると認識しております。この活動はまさに、「我々が生きていく街は、我々が守り、そして創る」という思いを持った青年部メンバーの意思を表現したものであると考えます。

本年度、ビジネス研修委員会では、愛する沼津、そして、誇るべき沼津の将来のために、現在沼津市の中小企業が抱える問題や要望など、沼津YEGメンバーの生の声を取りまとめ、その中で、「若者のUターン就職の促進」を今年度提言のテーマとして、議論を重ねてまいりました。

また、8月には国家公務員や市職員の皆様とこのテーマでディスカッションを行い、10月には沼津地区に立地する高校2年生、高専4年生に向けて、「学生の進学・就職に関する意識調査」というWEBアンケートも実施いたしました。

それらを参考にしながら、委員会メンバーが中心となり、様々な情報収集や調査研究を行い、今回の提言としてまとめました。

今回の提言は、若者がいかにして沼津市に戻り暮らすことができるか、働くことができるかということを中心に考えました。頼重市長が掲げる「活力ある」「いきいき暮らせる」「魅力輝く」まちづくりに大きく寄与できるものであると確信しております。

ぜひ夢の実現のために、この提言内容について、格別のご配慮、ご検討を頂きたく存じます。何卒よろしく願いいたします。

沼津商工会議所青年部
会 長 吉川 正明

【はじめに】

沼津商工会議所青年部は、商工会議所法に定められた公益経済団体としての商工会議所活動の一翼を担うため、地域性、総合性、公共性の観点から、沼津地域の商工業の総合的な改善発達に資する活動を目的の一つとしています。

平成30年度におきましては、この地域の商工業者に共通の課題として認識されてきている、若年者の人口流出、人材採用難をテーマに取り上げ、市の労働福祉政策に対する提言活動を実施することとなりました。

これまで、沼津市内への就職斡旋については、就職活動をしているタイミングの学生等へのアプローチを中心に実施されてきております。ところが、若年者の就職意識や働き方の多様性が目まぐるしく変化してきている昨今、地元出身でこれから市外へ学びに出る高校生、高専生のUターン意識はどうあるのか、大規模な調査は実施されてきませんでした。

若年労働人口の呼び戻しと沼津市の定住人口増加に資するため、限られた条件の中で有効な部分に有効な政策を打ち出すことが必要と考えられます。今年度におきましては上記の意識調査を踏まえた中で、どのような対策が若年者の地元就職促進に対して有効なのか、取りまとめました。

ご一読いただき、今後の市政ならびにこの地域の人口動向を把握する一助としていただければ幸いです。

沼津商工会議所青年部
平成30年度ビジネス研修委員会
委員長 小林淳一郎

【I. 提言】

若者が働き、暮らしやすい街づくり

- ・ 沼津駅高架化の早期実現による通勤、通学時間帯の渋滞緩和
- ・ 子育て世代が住みやすい環境の整備
- ・ 中心市街地への新規小売店舗立地促進と不動産リノベーション活性化
- ・ 個人市民税の減税と減税部分を利用した地域内消費刺激策の実施

学生の U ターン支援と、 従業員の給与水準向上に取り組む 企業への支援

- ・ 新幹線通学費貸与制度の創設
- ・ 国の所得拡大促進税制に合致する企業への法人市民税均等割額の減免

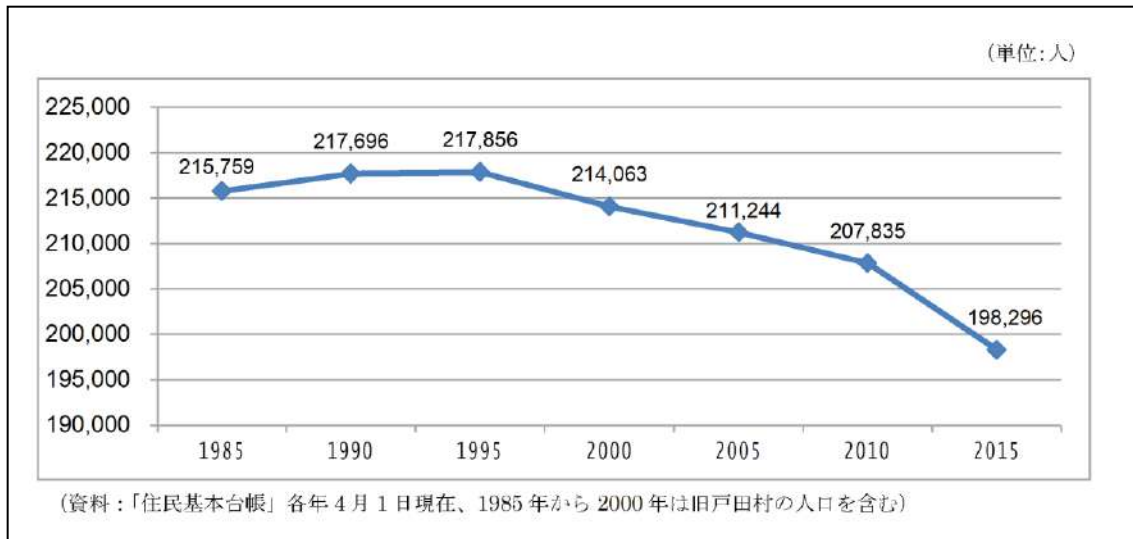
学生と地元企業の橋渡し事業の実施

- ・ 高校生、高専生と地元企業のマッチングイベント開催
- ・ WEB 上での合同会社説明会の実施

【Ⅱ. 提言背景】

1. 総人口の減少と少子高齢化

沼津市の人口は、5年ごとの統計で見ると1995年をピークに減少に転じ、2015年までの20年間で19,560人、減少率で9.0%となっている。

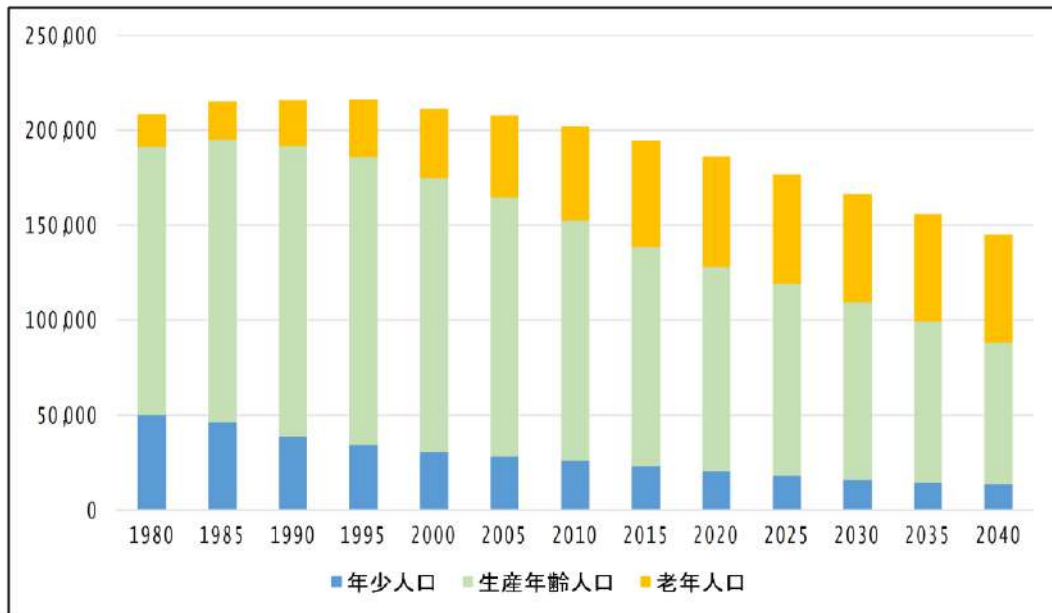


また、年少(14歳以下)、生産年齢(15歳～64歳)、老年(65歳以上)の年齢3区分による人口推移を見ると、沼津市では1990年以降生産年齢人口の減少が続き、今後も総人口の動向と並行して減少が続くと見込まれている。

一方で老年人口は2020年まで増加が続き、その後は横ばいで推移すると見込まれるが、総人口が減少するため相対的な比率が高まり、2040年には総人口に占める生産年齢人口の割合が51.4%まで低下、老年人口は39.2%まで上昇すると見込まれている。

年	総人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口割合	生産年齢人口割合	老年人口割合
1980	208,668	49,931	141,719	17,018	23.9%	67.9%	8.2%
1985	215,343	46,273	148,735	20,335	21.5%	69.1%	9.4%
1990	216,160	39,079	152,700	24,381	18.1%	70.6%	11.3%
1995	216,470	34,276	151,792	30,402	15.8%	70.1%	14.0%
2000	211,532	30,885	144,228	36,419	14.6%	68.2%	17.2%
2005	208,000	28,224	136,574	43,202	13.6%	65.6%	20.8%
2010	202,221	25,911	126,489	49,821	12.8%	62.5%	24.6%
2015	194,675	23,328	115,368	55,979	12.0%	59.3%	28.8%
2020	186,410	20,601	107,536	58,273	11.1%	57.7%	31.3%
2025	176,846	18,055	100,971	57,820	10.2%	57.1%	32.7%
2030	166,508	15,898	93,533	57,077	9.5%	56.2%	34.3%
2035	155,810	14,537	84,630	56,643	9.3%	54.3%	36.4%
2040	145,140	13,592	74,651	56,897	9.4%	51.4%	39.2%

(資料:平成27年10月「沼津市まち・ひと・しごと創生ビジョン」)

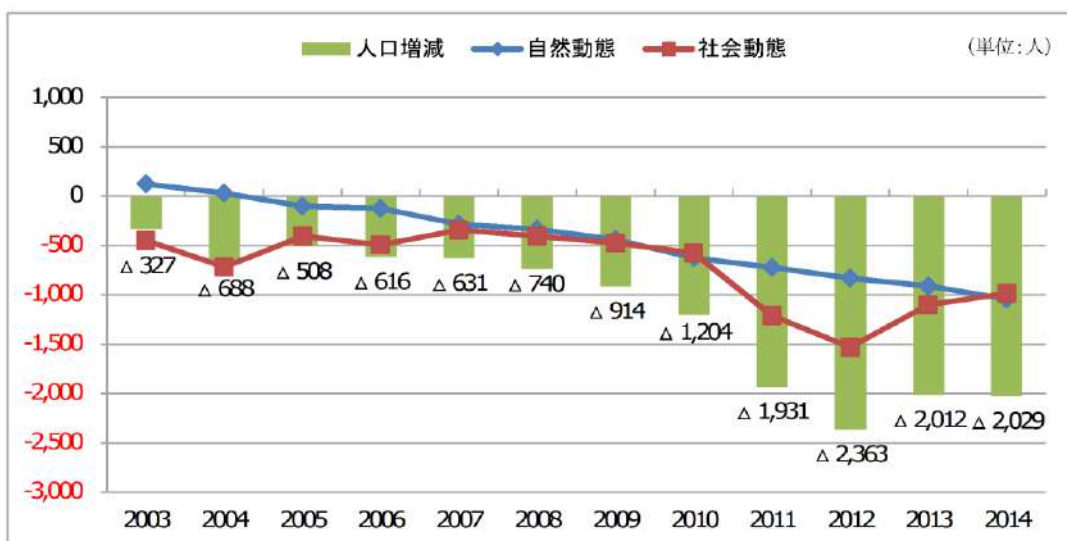


(資料:「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、年齢不詳は除く)

2. 沼津市は若年世代を中心に転出超過

出典資料によると、このような少子高齢化と総人口減少には、1971年から続いている社会動態(転入と転出の差)による減少が影響するところが大きく、2004年まで増加が続いていた自然動態(出生数と死亡数の差)とは異なる動きを見せてきた。

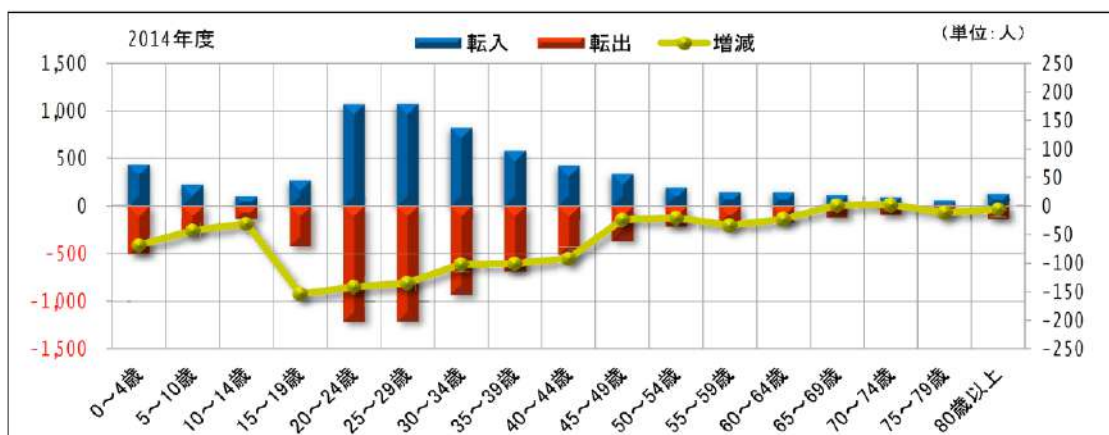
転出超過は一時減少した時期もあったが、2008年から増加に転じ、2011年以降、東日本大震災による東北地方沿岸部の津波被害などをきっかけに沿岸部への居住が敬遠され、幅はさらに増加した。



(資料:「住民基本台帳」 ただし2003年、2004年以前の値に旧戸田村の人口を含んでいない)

この転出超過の傾向を5歳階級年齢別に見ると、15歳から44歳まで幅広い年齢層で転出超過の傾向が見られ、特に減少率が高い15歳～19歳は進学や就職を転機として、20歳～34歳では就職や結婚などの要因で転出しているものと考えられる。

転出先の傾向としては静岡県内では静岡市、三島市などに対して転出超過、県外との転出入を見ると東京都や神奈川県を中心に首都圏への転出超過が進んでいる。



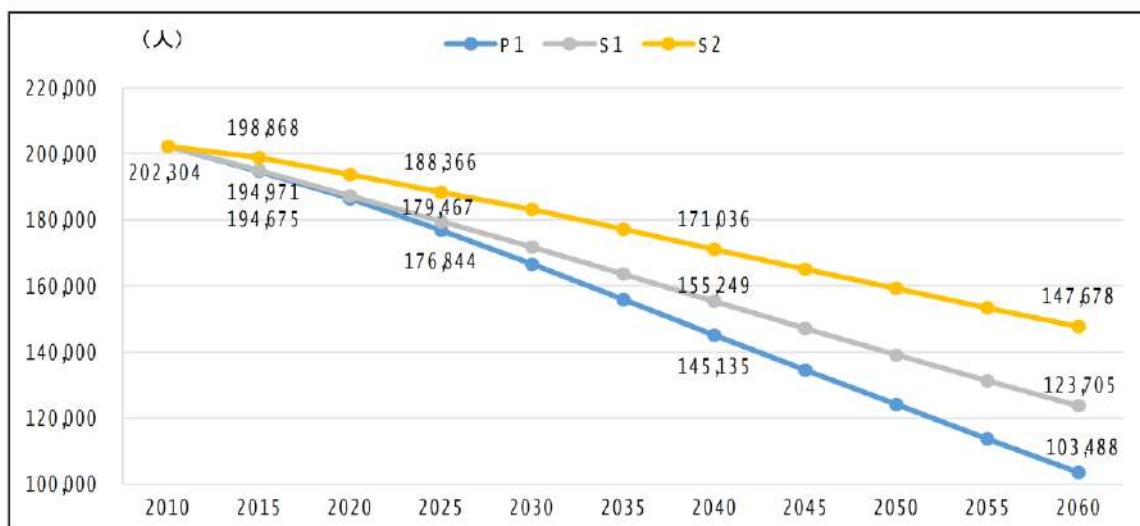
	2012年度			2013年度			2014年度		
	転入数	転出数	純移動数	転入数	転出数	純移動数	転入数	転出数	純移動数
静岡市	316	494	-178	387	508	-121	307	470	-163
浜松市	138	195	-57	139	174	-35	142	177	-35
伊豆の国市	159	225	-66	170	221	-51	138	195	-57
長泉町	359	370	-11	348	366	-18	349	404	-55
富士市	361	462	-101	454	495	-41	410	448	-38
清水町	272	387	-115	395	392	3	316	352	-36
三島市	386	569	-183	435	507	-72	467	477	-10
伊豆市	72	52	20	80	63	17	59	68	-9
御殿場市	193	146	47	198	152	46	130	139	-9
富士宮市	110	109	1	119	137	-18	102	96	6
函南町	104	162	-58	159	156	3	110	98	12
裾野市	209	207	2	247	254	-7	277	219	58
他市町	425	425	0	464	441	23	477	417	60
県内計	3,104	3,803	-699	3,595	3,866	-271	3,284	3,560	-276
東京都	304	376	-72	668	803	-135	555	834	-279
神奈川県	495	857	-362	537	1,035	-498	533	808	-275
千葉県	193	188	5	251	208	43	168	199	-31
埼玉県	138	165	-27	151	219	-68	160	187	-27
愛知県	264	346	-82	318	382	-64	272	278	-6
他道府県	1,441	1,700	-259	1,622	1,820	-198	1,267	1,359	-92
県外計	2,835	3,632	-797	3,547	4,467	-920	2,955	3,665	-710
合計	5,939	7,435	-1,496	7,142	8,333	-1,191	6,239	7,225	-986

(資料：「住民基本台帳」)

3.将来的な人口推計でも総人口は減少

将来人口の推計においては、国立社会保障・人口問題研究所の推計方法に基づく国の推計(P1)では、沼津市の人口は2060年に103,488人となり、推計の起点となる2010年の人口202,304人と比較して50年間の減少率は48.8%にも上る。

一方、(S1)は国の「まち・ひと・しごと創生本部」による推計を一部修正したもので、(P1)を基礎として合計特殊出生率が2.07(沼津市の直近値は1.46)まで上昇するという仮定が加えられている。また、(S2)は(S1)に、人口移動が均衡(社会増減がゼロ)とする仮定が加えられている。



(P1)

国立社会保障・人口問題研究所が「日本の地域別将来推計人口」で示した推計方式に準拠し、期間を2060年まで延長したもの。合計特殊出生率は現状より一定程度低下、社会増減(移動率)は今後一定程度縮小し、以後はいずれも同水準で推移すると仮定されている。

(S1)

P1の推計を基礎として、合計特殊出生率が2030年に人口置換水準(人口を長期的に一定に保てる水準の2.07)まで上昇したとした場合のシミュレーション。

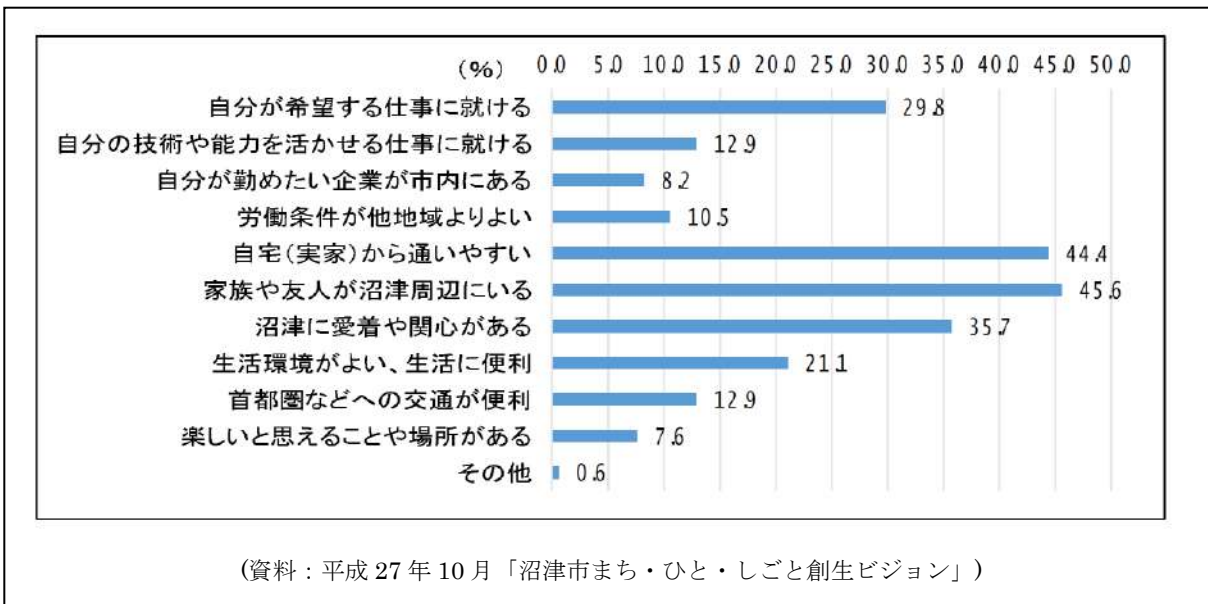
(S2)

合計特殊出生率が2030年に人口置換水準(2.07)まで上昇し、かつ人口移動が均衡した(移動がゼロとなった)場合のシミュレーション。

(資料：平成27年10月「沼津市まち・ひと・しごと創生ビジョン」)

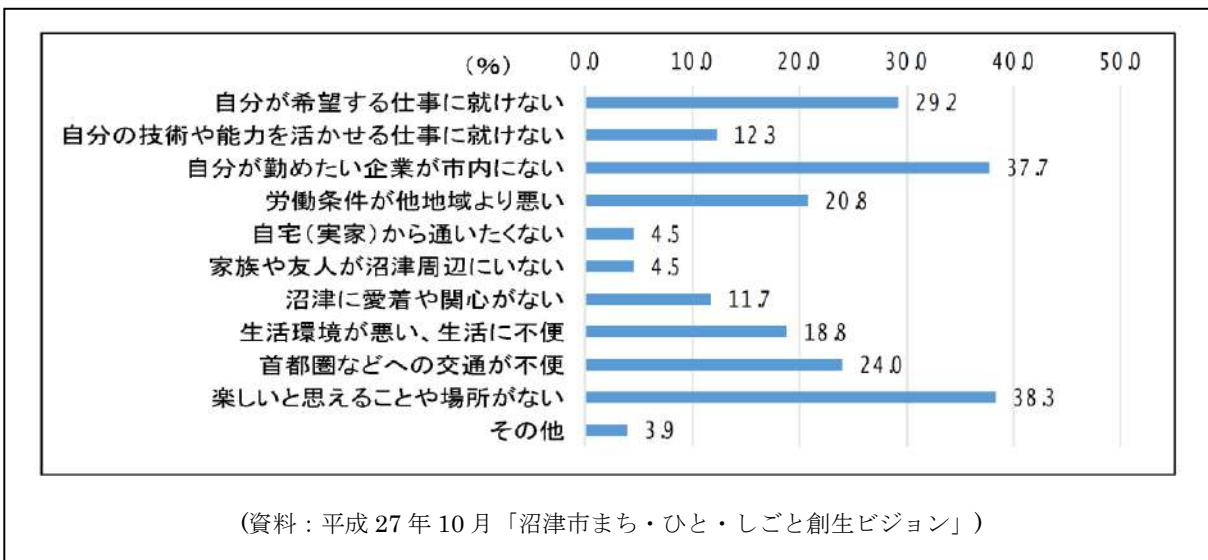
4.地縁や郷土愛が強い市民性

こうした中、就職、転職、勤務に関して過去に沼津市が実施した意識調査によると、今後沼津市で働きたいと回答した方の意見に「家族や友人が沼津周辺に居る」45.6%、「自宅(実家)から通いやすい」44.4%、「沼津に愛着や関心がある」35.7%と、沼津市に生活拠点があることや沼津に愛着があるとの意見が多く見られる。



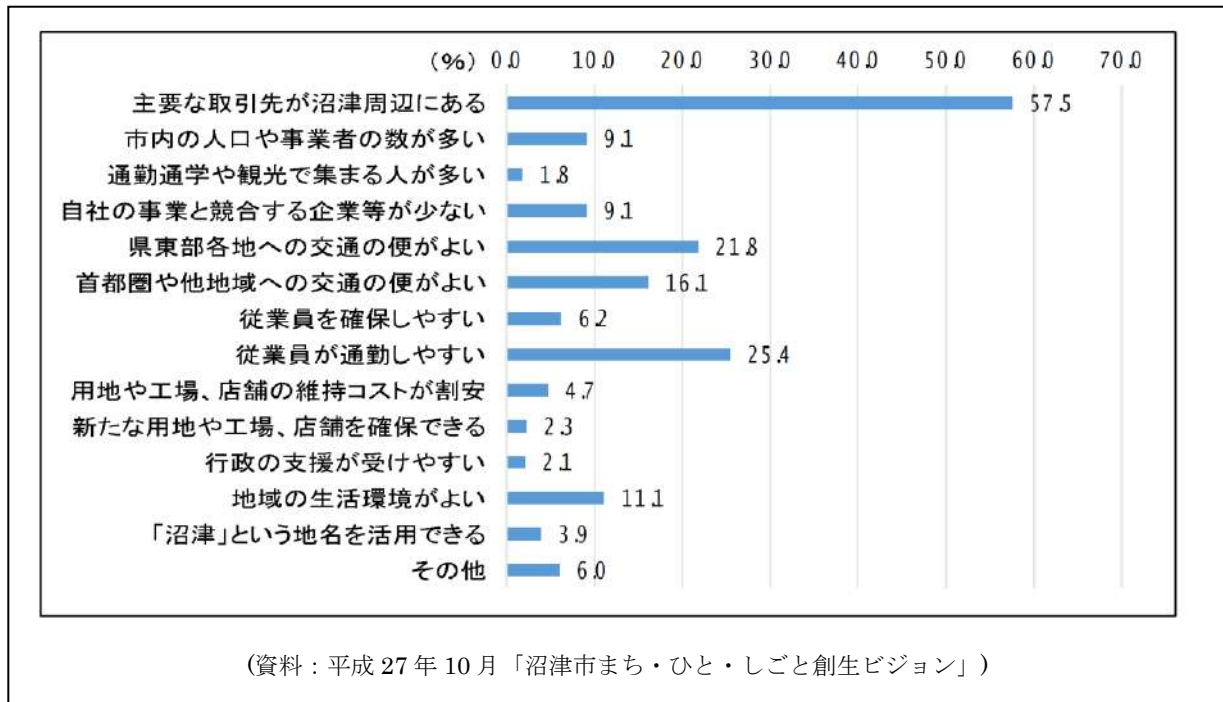
5.地元就職の課題は生活環境と企業立地か

一方で、今後沼津市で働きたくないと回答した方の意見には、「楽しいと思えることや場所がない」38.3%、「自分が勤めたい企業が市内にない」37.7%、「自分が希望する仕事に就けない」29.2%の順で、就業環境に関する意見が多いことが分かる。

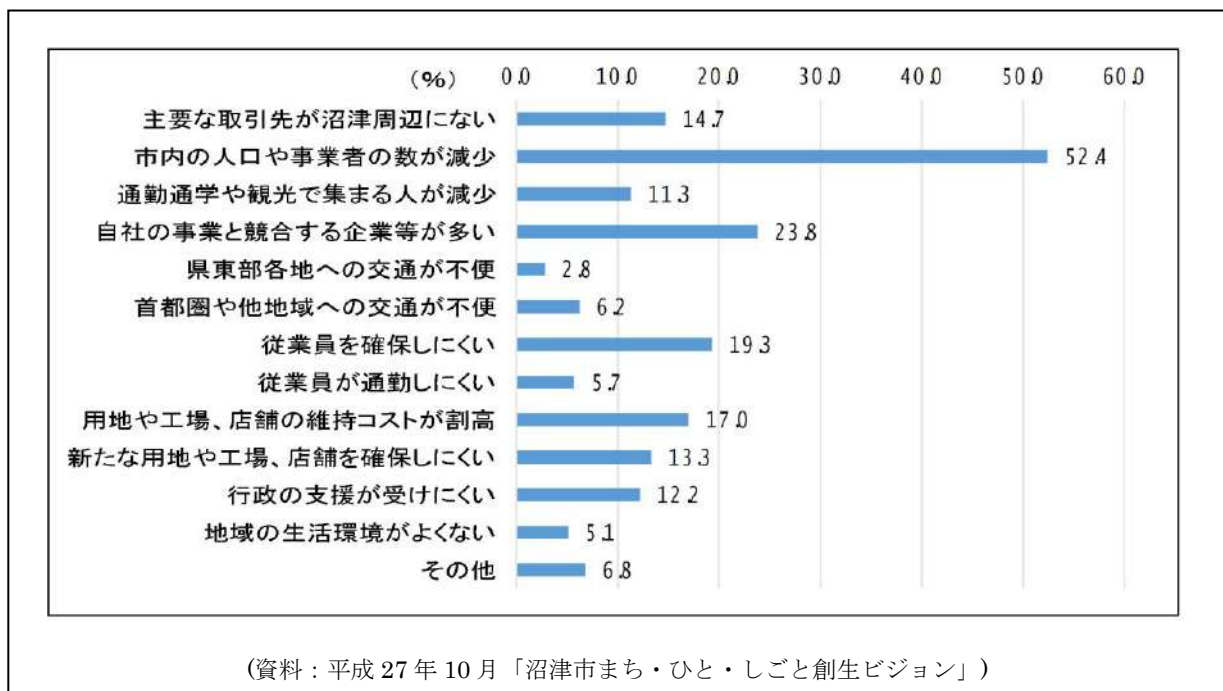


6.企業立地面での社会インフラや産業の集積は好印象だが経済規模縮小が課題

視点を改めて、沼津商工会議所と沼津市商工会の会員の中から無作為に抽出した事業者 1,000 社に対するアンケート調査(有効回答数 417 社)では、沼津市に立地メリットを感じている事業者の回答として「主要な取引先が沼津周辺にある」57.5%で最も多く、次いで「従業員が通勤しやすい」25.4%、「県東部各地への交通の便が良い」21.8%と、取引先の存在と交通利便の良さが評価されている。



一方、沼津市への立地をデメリットと回答した事業者の意見では、「市内の人口や事業者の数が減少」52.4%で特に多く、人口や事業者数の縮小を懸念する事業者が多いことが目立っている。



こうした様々な傾向を踏まえ、転出超過や総人口減少、労働生産人口比率の低下に歯止めをかけ、地域経済の維持と活性化を図るためには、行政が有効な対策を有効な部分に精度の高いやり方で展開する一方で、民間事業者も必要な対策を打ち、官民を上げて問題に取り組むことが必要と考える。

沼津商工会議所青年部では今回、とりわけ転出傾向が顕著な15歳～19歳の年齢層に着目し、進学や就職を機に市外へ転出する若年者の意識調査を実施していくことで、労働施策として何が有効かを模索した。

【Ⅲ. 政策提言について】

沼津市まち・ひと・しごと創生ビジョンによる調査結果と、今回意識調査を実施した若年世代の傾向を踏まえ、沼津商工会議所青年部としては下記の3つの政策を提言します。

1.若者が働き、暮らしやすい街づくり

2.学生のUターン支援と、従業員の給与水準の向上に取り組む企業への支援

3.学生と地元企業の橋渡し事業の実施

1. 若者が働き、暮らしやすい街づくり

沼津市の総人口は減少傾向にあるものの、2004年ころまで自然動態による人口は増加していて、以後は出生率の低下等により減少に転じ、現在直面している総人口の減少傾向の主な要因は2011年に発生した東日本大震災による津波想定に端を発した転出超過(社会動態)である。

交通インフラの整備により、東京など首都圏へのアクセスが容易となった現在、特に転出傾向が強い10代後半の若年者において、居住や就職地の選択で比較される対象は関東圏が多い傾向であることは、今回の意識調査でも改めて明らかとなった。

裏を返せば、課題を解決することにより沼津市が暮らしやすい街になることで、首都圏よりも居住コストがリーズナブルであることから、若年者の勤務地、居住地選択において、沼津市がその選択肢の中に入ることができると考える。

今回は具体的に若年者から意見が多く、現在直面している課題への政策提起である4点を提言させていただきたい。

- (1)沼津駅高架化の早期実現による通勤、通学時間帯の渋滞緩和
- (2)子育て世代が住みやすい環境の整備
- (3)中心市街地への新規小売店舗立地促進と不動産リノベーション活性化
- (4)個人市民税の減税と減税部分を利用した地域内消費刺激策の実施

(1) 沼津駅高架化の早期実現による通勤、通学時間帯の渋滞緩和について

本調査による高校生の意識調査結果では、「高架化をしてほしい」「渋滞を起こらなくした方が良い」などといった声が上がっている。

高架化に関しては、昭和 60 年 11 月に「沼津市都市地区総合整備計画調査委員会」が設置されたのを皮切りに沼津駅周辺総合整備事業がスタートした。その 1 つである鉄道高架事業において、基本構想策定時に議論された問題である、鉄道が市の中心部で道路交通を南北に分断していることに起因する、朝夕の渋滞問題がいまだ尾を引いている。このことは若年者に対する意識調査でも通勤、通学環境にマイナス影響を及ぼす問題として回答されている。

また、高架化計画実行の遅れそのものが「沼津市＝意思決定が遅い」というイメージとなり、居注意欲に水を差す結果となっている。

平成 18 年の事業認可からすでに 12 年経過している鉄道高架を早期に実現し、課題の解決に向けて動き出す姿勢を強く見せることを提言する。



(2) 子育て世代が住みやすい環境の整備について



2015 年に調査した第 II 章の資料では郷土愛が強く、沼津市に愛着がある市民が多いという調査結果の一方で、沼津市で就業したくない理由として「楽しいと思えることがない」という回答が就業環境関係の回答を押さえもつとも多くなっている。

また、本調査でも「子育てのしやすい環境」や「女性が働きやすい環境」など、生活する上での環境改善を要望する声があった。しかし、沼津市には一般的に公園（住民の利用に供する身近なものから広域的な利用に供するもの）と言われるものが 148 箇所もあり、近隣の三島市と比べて 83 箇所多いことがわかった。そのため、公園の数は十分だと考えられ、既存の公園を子育てする世代が使いやすいよう整備することを提言する。

(3) 中心市街地への新規小売店舗立地促進と不動産リノベーション活性化について

中心市街地で西武百貨店が 2013 年に閉店したことによる買い物の不便さと、中心市街地の活力に陰りが出ているとの指摘が多く、中心市街地の活性化を要望する声はある。

西武百貨店が沼津から撤退した理由の一つとして「沼津は 20 年以上顔が変わらない街」と撤退時の店長の言葉に示されるように、中心市街地の店舗や商品の流動性停滞が、集客力の減退につながっていることは推察できる。

そこで、新しい小売店が新規出店しやすくするため、市が現在進めている「沼津市リノベーションまちづくり」を中心市街地空き店舗にも今まで以上に積極展開することにより、ひとがもう一度中心市街地に還流し、既存店舗との相乗効果をあげることにより街全体の活況感が高まり、ひいては居留意欲の向上につながるものと推察する。



完全閉店セール中の西武百貨店沼津店



空き店舗が目立つ沼津仲見世商店街

なお、中心市街地の空き店舗有効活用に対しては、さらなる補助の充実と、空き店舗の固定資産税特例の廃止を要望する。

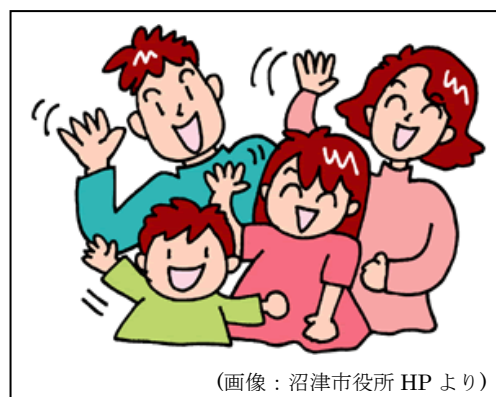
(4) 個人市民税の減税と減税部分を利用した地域内消費刺激策

本調査結果では、「もっと経済をまわす」「地元民への優遇措置」など地元経済の活性化の声が上がられている。

愛知県名古屋市の河村市長が住民税減税を公約に当選したことは記憶に新しい。2017年8月に名古屋市が発表した、減税効果を検証するための市民アンケートでは、回答者の54.8%が住民税の減税分を

「日常の生活費の中で使った」と回答している。市政が負担できる範囲で減税は歓迎されると思慮する。

減税部分は地域内での消費刺激へ効率よく還流させるため、市内企業や店舗で使用できる商品券等に振り替え、地域経済に資金が循環する仕組みを提言する。



(画像：沼津市役所 HP より)

2. 学生のUターン支援と、従業員の給与水準向上に取り組む企業への支援

意識調査の結果、地元就職を希望しない学生が、実現すれば地元就職するかもしれないものとして回答した内容では「給料がよい就職先が多くできる」が「地元経済が活性化する」をおさえてトップであった。また、地元就職を希望しない理由として「給料が安そうだから」という回答が「志望する企業がないから」という理由とともに地理的、生活的条件の次に多い回答となっている。

静岡県の最低賃金は全国的にみても8位と高い水準であるが、一方で中小企業は賃金の上昇分を生産性の向上でまかないきれず、待遇改善が後手に回っているのか、2017年の「賃金構造基本調査」(厚生労働省発表)では、県別の年収ランキングで全国15位と乖離がある。別のデータでは沼津地域の所得状況は全国的に見て高水準との分析もあるが、高齢化率の進行などから考慮すると若年世代の所得状況とは必ずしも連動していないことが想定される。

市民の可処分所得額増加は市全体の景況感と密接に関係があることから、2点を提言させていただきたい。

(1) 新幹線通学費貸与制度の創設

(2) 国の所得拡大促進税制に合致する企業への法人市民税均等割額の減免

(1) 新幹線通学費貸与制度の創設

意識調査の結果では、学生が関東圏への転出志向が強いことが分かった一方で、地元就職を「希望する」と「どちらかといえば希望する」と回答した学生に理由を聞いたところ、「(自分の意思で)両親や祖父母の近くで生活したいから」が最も多く、次いで「地元での生活に慣れているから」、「実家から通えて経済的だから」という理由が続いた。

近年は東海道新幹線に代表される鉄道の利便向上から、進学先や就職先が関東圏であっても沼津市内から電車通学・通勤をする人も増えている。



JR 三島駅から新幹線を利用する人々

そこで、新幹線通学をする学生に着目し、Uターン就職を促進するための通学費貸与制度創設を提言する。

これは静岡市が既に事業化している「新幹線通学費貸与事業」に倣うものであるが、貸与金の返還を免除する条件として、沼津市への居住と市民税所得割の完納に加え、「市内企業への就職」等のUターン就職に関する条件を付加することを提案したい。



イメージ図(県内を走行する東海道新幹線)

(2) 国の所得拡大促進税制に合致する企業への法人市民税均等割額の減免について

本調査結果では、「給与アップ」「給与を高くする」などの声が上がっている。しかし、前述でも静岡県の労働者の年収は全国的にみても高水準であり個々の企業努力だけでは全体的な給与所得の向上は難しい。

国では、国税で設けられている「所得拡大促進税制」の条件に合致した事業者は法人税の減免等優遇措置を受けられる内容となっている。雇用の確保や賃金水準の向上は経済好転の基本であり、この主旨に賛同し、積極的に取り組む企業への市としての支援を提言する。

法人市民税はその性格上、均等割額と法人税割額で構成されており、法人税割額は国の法人税減税の影響を受けることから、こちらを減税することは二重減税となるため、均等割額の減免を提言する。

法人税の均等割額は多くの市町村で公益法人等に対して減免措置を講じており、市の経済へ寄与度の高い民間企業においても同様の制度を活用されたい。

3. 学生と地元企業の橋渡し事業の実施

意識調査の結果、地元就職を「(どちらかといえばを含め)希望しない」と回答した学生に理由を聞いたところ、「都会の方が便利だから」「実家に住みたくない(離れたい)から」「地域にとらわれず働きたいから」「志望する企業がないから」という回答が上位だった。特に、地域にとらわれず働きたいからという回答が他の選択肢を抑え 34.9%と最も多いことから、施策により学生の U ターン就職を促進することには一定の可能性が伺える。

本提言書では上記のうち、地元地域に魅力を感じないという主旨の回答と、地元企業のことを知らない、または魅力を感じないという主旨の回答が多いことに着目し、2 点を提言させていただきたい。

- (1) 高校生、高専生と地元企業のマッチングイベント開催
- (2) WEB 上での合同会社説明会の実施

(1) 高校生、高専生と地元企業のマッチングイベント開催

地元就職が低調な理由の一つに、地元にどのような企業があり、どのような職の求人があるのか、情報が学生に届きにくい事情があるものと推察される。県外へ転出を希望している高校生、高専生に、転出する前の段階で地元企業を知ってもらうことで、就職先決定の際に地元企業への就職が選択肢の中に入る可能性がある。

そこで、就職を前提としない高校生、高専生と地元企業のマッチングイベント開催を提言する。

このことは沼津市の産業を学生に周知することで地元就職に誇りをもってもらう意味でも有効であり、地方にも高いノウハウを持った企業や業界優位の企業が存在することを示せるイベントとなる。沼津商工会議所青年部は、市と協業してこのイベント運営に積極的に関与することを希望する。

(2) WEB 上での合同会社説明会の実施

県外転出後に地元就職を考えている学生が、就職活動をする際に最も障害に思っていることが「地元までの交通費」と「地元までの距離・時間」であることが、意識調査の結果から明らかとなった。

こうした物理的な問題を解決するために、WEB を使った市主催の合同会社説明会の実施を提言する。

合同会社説明会には沼津商工会議所会員企業や沼津市内に立地する企業や事業所の参加を多数募り、学生はこの説明会に登録すれば、費用をかけずに沼津市の就職情報を一元的に入手できるという利便を得ることができる。

【IV. 若年者の意識調査結果】

学生の進学・就職に関する意識調査

■調査期間：2018年10月15日(月)～11月9日(金)

■調査方法：沼津地区に立地する高校の2年生および高専の4年生へのチラシ配布によるWEB上での回答受付

■有効回答数：680名

■設問項目

- (1)所属高校名【SA】
- (2)性別【SA】
- (3)お住まいの市町村【SA】
- (4)希望進路、転出予定について【SA】
- (5)希望進路が県外と回答の方、最も希望している転出エリア【SA】
- (6)希望進路が県内と回答の方、希望進路の所在している静岡県の地区【SA】
- (7)将来または現在、就職を希望する業界を全て選択【MA】
- (8)あなたが将来、最も働きたいと思う勤務地【SA】
- (9)あなたが「地元(Uターン先)」だと認識する範囲【SA】
- (10)あなたの地元の特徴について【MA】
- (11)地元(Uターンを含む)就職を希望する場合、志望する企業の地域的範囲はどこまでになりますか。自宅を中心に勤務可能な範囲を選択【SA】
- (12)静岡県外に進学または就職希望の方、一度地元から離れると、地元企業への就職活動でどのようなことが障害になると思いますか【SA】
- (13)就職先を決める際に、両親や親族に相談する予定(またはすでにした)ことがありますか【SA】
- (14)Q13で「ある」と回答の方、主に親族の誰に相談しましたか【SA】
- (15)両親や親族から就職のアドバイスを受けることが、どの程度就職活動に影響すると思いますか【SA】
- (16)両親や親族からアドバイスを受けた場合、地元(Uターンを含む)就職に対する考え方は変わると思いますか【SA】
- (17)兄弟姉妹において、あなたは何番目にあたりますか【SA】
- (18)Q4で静岡県内に進学または就職希望と回答の方、あなたが地元就職活動のために帰省しやすいと思うタイミングを全て【MA】
- (19)就職先を選択する際、重要だと思うものを3つ選択【MA】
- (20)Q4で静岡県外に進学または就職希望と回答の方、進路先を決定する理由に近いものを全て選択【MA】

(次ページに続く)

- (21)現時点で地元(Uターンを含む)就職を希望しますか【SA】
- (22)Q21で「希望する」または「どちらかという希望する」と回答の方、
地元(Uターンを含む)就職を希望する理由【SA】
- (23)どのような方法で地元の企業情報を得る予定ですか【MA】
- (24)地元企業の催しに参加したいと思えますか。参加したいと思うものを全て
選択【MA】
- (25)Q21で「どちらかといえば希望しない」「全く希望しない」と回答の方、
地元就職を希望しない理由は何ですか【MA】
- (26)Q21で「どちらかといえば希望しない」「全く希望しない」と回答の方、
実現すれば地元就職するかもしれないものを選択【MA】
- (27)Q21で「どちらかといえば希望しない」「全く希望しない」と回答の方、
将来的(遠い将来でも可)に地元就職を考えていますか【SA】
- (28)Q27で「考えている」と回答の方、将来どのような機会にUターンを考
えると思えますか【FA】
- (29)沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由
にお書きください【FA】

【SA】=単一選択 【MA】=複数選択 【FA】=自由記述

基本データと集計方法

■学生の属性データ

	回答数	比率
男性	302	44.4%
女性	350	51.5%
回答しない	28	4.1%
総計	680	100.0%

【集計に際しての定義】※次ページ

地元=静岡県内に進学、または就職希望と回答された方

地元外=静岡県外に進学、または就職希望と回答された方

■高校別のデータ

高校名	回答数	比率	進学				就職			
			地元 男性	地元 女性	地元外 男性	地元外 女性	地元 男性	地元 女性	地元外 男性	地元外 女性
	680	100%	55	82	150	171	18	26	9	11
沼津東	18	2.6%	1	1	6	7	0	0	0	0
沼津西	10	1.5%	2	0	2	6	0	0	0	0
沼津商業	33	4.9%	1	2	4	3	2	16	0	2
沼津工業	15	2.2%	2	0	4	0	5	0	0	0
沼津城北	6	0.9%	1	2	0	0	1	0	0	0
市立沼津	7	1.0%	0	2	1	4	0	0	0	0
沼津高专	17	2.5%	1	0	5	1	1	0	3	1
沼津中央	1	0.1%	0	0	0	0	0	0	0	0
加藤学園	284	41.8%	26	38	59	79	2	9	3	6
暁秀	4	0.6%	0	0	1	2	0	0	0	0
飛龍	17	2.5%	2	2	3	4	2	1	0	0
桐陽	267	39.3%	18	35	65	65	5	0	3	2
誠恵	1	0.1%	1	0	0	0	0	0	0	0

※性別を「回答しない」、進路を「未定」と回答している学生が居るため、縦横の合計数は合致しない

【調査結果の概要】

■1：静岡県外への転出傾向

□ 静岡県外に進学を希望する学生が全体の 47.9%、県外就職を希望する学生が全体の 2.9%で、合計 50.8%の学生が県外転出を希望している

静岡県内に進学を希望している学生は20.4%、県内就職を希望している 6.9%を合わせても、県外転出の傾向が強い。一方で「未定」との回答も 21.8%あり、対象年齢においては具体的な進路についてまだ意思決定されていない学生も多い。

県外転出希望者の転出対象地域は「関東エリア」が 71.7%と最も高く、次いで「未定・こだわりのない」が 9.8%となっている。

県内に就職・進学希望と回答している学生では、「静岡市」への転出を希望している割合が 23.1%と多く、次いで「沼津市」が 17.7%となっている。こちらの層についても「未定・こだわりのない」が 39.2%と最も多く、県外転出希望者と合わせて、進学地や就職地に特にこだわらない層が一定割合存在することも見える。

この傾向は将来の希望勤務地にも表れており、「勤務地には特にこだわらない」が 34.9%と最も多く、次いで「沼津市」を含めた「静岡県内」が 24.0%、「東京都内」が 23.1%となっている。関東圏への転出傾向は「東京以外の関東エリア」を希望するものを含めると 35.3%と高く、県内を希望する数を大きく上回っている。なお、「沼津市」へ就職を希望している割合は 6.9%となっている。

■2：地元の特徴について

□ 「自然が豊か」や、「自分専用の車を持っている人が多い」が上位

地元の特徴についての設問では、「自然が豊か」が 55.7%、「自分専用の車を持っている人が多い」が 29.4%、「人間関係が濃い」が 21.9%、「郷土愛の強い人が多い」が 17.5%などが上位回答として挙げられた。

一方で地元就職を増やすための案を自由記述してもらったところ、「魅力的な施設を作って生活しやすくして欲しい」「買い物ができる商業施設が不足」「学校の不足」「ブランド店が無い」「電車の本数が少ない」「鉄道高架と駅周辺の整備、中心市街地の活性化が必要」「治安が悪い」など、社会インフラのさらなる拡充や買い物の利便、経済活性化を要望する意見が多くみられ、生活環境を改善したり企業や店舗の誘致をおこなうことにより、地元就職や定住人口を増加させることの可能性が考えられる。

■3：地元企業への就職活動で最も障害になること

□最も困ることは「地元への交通費」、次いで「地元までの距離・時間」

静岡県外へ転出を希望している学生のうち、将来沼津市と沼津市以外の静岡県内へ就職を考えている学生に地元就職で現在最も考える障害を聞いたところ、「地元までの交通費」と回答した学生が29.7%と最も高かった。次いで「地元までの距離・時間」が24.3%、「地元企業の数が少ない」が10.8%と続いている。

交通費や距離・時間の問題は地元企業側が主要転出地に出向く他、WEBセミナー等を開催するで解決できる。

地元企業の催しに参加したいか、という設問に対しては「進学先の学校近郊の合同説明会」が最も高く、「地元企業開催の合同説明会」や「地元企業の個別セミナー」といった交通費負担を伴いそうなものを大きく上回っている。今回の調査では「地元企業開催のWEBセミナー」への参加希望者の割合が少ないため、この有用性を学生に認知してもらった上で個別開催に加え、地元企業が合同でWEB上の合同会社説明会をおこなうことで、「地元企業が少ない」と感じている学生にアプローチできると考える。

■4：両親や親族の影響

□両親や親族に就職の相談をする割合は81.9%、相談の結果が就職活動に影響すると回答した割合は85.9%

両親や親族に就職先を決める際の相談をする予定(またはすでに相談した人)の割合は81.9%だった。相談結果が自身の就職活動に「(大きく+多少)影響すると思う」と回答した割合が85.9%となっていて、就職先決定に両親や親族の意見が一定の影響を及ぼしていることが分かる。

この「影響すると思う」と回答した学生には静岡県内に就職または進学希望の学生で特に傾向が強く、県内就職・進学希望で90.9%、県外就職・希望で82.4%となっている。

また、地元企業情報をどこで得るかという設問に対しては、「両親や親族から紹介を受ける」と回答した学生の割合が、「影響すると思う」と回答の中で県内就職・進学を希望している学生で27.8%、県外就職・進学で24.9%と、いずれも県内に進路を希望している学生で高くなっている。これについては全体でも26.4%の学生が「両親や親族からの紹介を受ける」と回答していて、地元就職対策はこの部分が重要であることが伺える。

■5：就職先や進学先の選択基準

□「企業経営の安定」「社員の人間関係が良い」「給与や賞与が高い」が上位回答

学生に就職先の選択基準を聞いたところ、「企業経営の安定」と回答した割合が 59.0%で最も高く、次いで「社員の人間関係が良い」が 52.5%、「給与や賞与が高い」が 48.7%と続いていて、他の選択肢を大きく上回っている。

地元就職を増やす案の自由記述でも給与水準の向上を要望する意見が多く、商工会議所会員企業をはじめ地元経済界はこの部分の課題解決に向けて取り組む必要がある。

同じく県外進学希望者に大学等進学先の選択基準についても聞いてみたところ、「就きたい仕事に関連した履修項目がある」が 42.6%でトップとなっており、次いで「学校のブランド(知名度やイメージ)が良い」が 37.4%となっている。進学先を決定する際に、その先の就職を意識している学生の割合が高いことが分かった。

■6：地元(Uターン)就職希望理由と活動開始時期

□「自分の意思で両親の近くで生活したいから」「地元での生活に慣れているから」が上位

地元(Uターン)就職を希望する学生に理由を聞いたところ「(自分の意思で)両親や祖父母の近くで生活したいから」が 22.9%で最も高く、次いで「地元での生活に慣れているから」が 18.0%、「実家から通えて生活が楽だから」が 13.7%と続いた。

「(自分の意思で)両親や祖父母の近くで生活したいから」と回答した学生は男性で 26.2%、女性で 21.0%と男性が両親との生活を重要視している傾向となった。一方、「実家から通えて生活が楽だから」と回答した学生は男性で 8.5%、女性で 19.1%と、女性が生活を考えて現実的に決めている割合が高い傾向となった。

地元就職を希望している人が就職活動のために帰省しやすいと思うタイミングは「大学 3 年の冬ころ」と回答している割合が 44.6%で最も多いが、2 番目以降は男女差が見られ、男性では実際の選考開始時期となる「大学 4 年の夏ころ」との回答が 32.9%であるのに対し、女性では広報活動開始時期と重なる「大学 3 年の年度末ころ」と回答した割合が 28.7%となっていて、女性の方が活動時期が少し早い傾向が見られた。

■7: 地元(U ターン)就職を希望しない理由と実現すれば地元就職するかもしれないもの

□実現すれば地元就職するかもしれないもの 1位は「給料が良い就職先が多くできる」

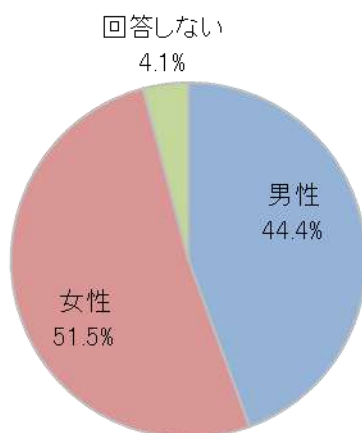
地元(U ターンを含む)就職を希望しない学生の理由として第 1 位は「都会の方が便利だから」(36.1%)となっている。

実現すれば地元就職するかもしれないものについては「給料が良い就職先が多くできる」が 31.6%で最も多く、次いで「地元の経済が活性化する」が 29.4%、「働きたいと思うような企業が多くできる」が 24.9%となった。

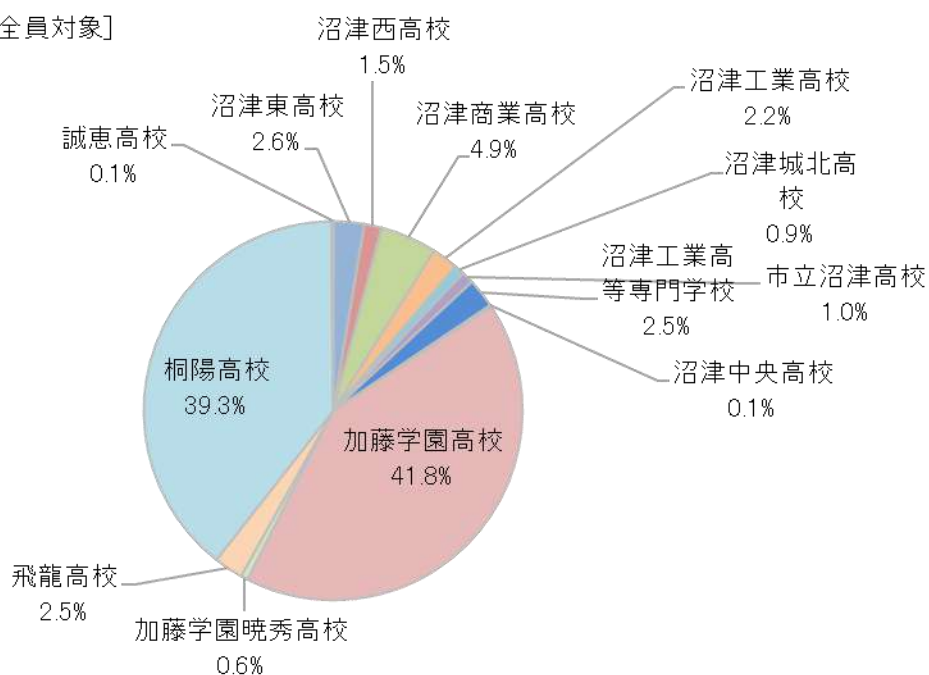
生活上のインフラや商業施設等の整備をすることにより地元就職を希望しない学生に一定の歯止めが期待できるほか、地元経済の活性化による給与水準の向上、新規企業誘致が地元での労働意欲に影響することが分かった。

■データ集

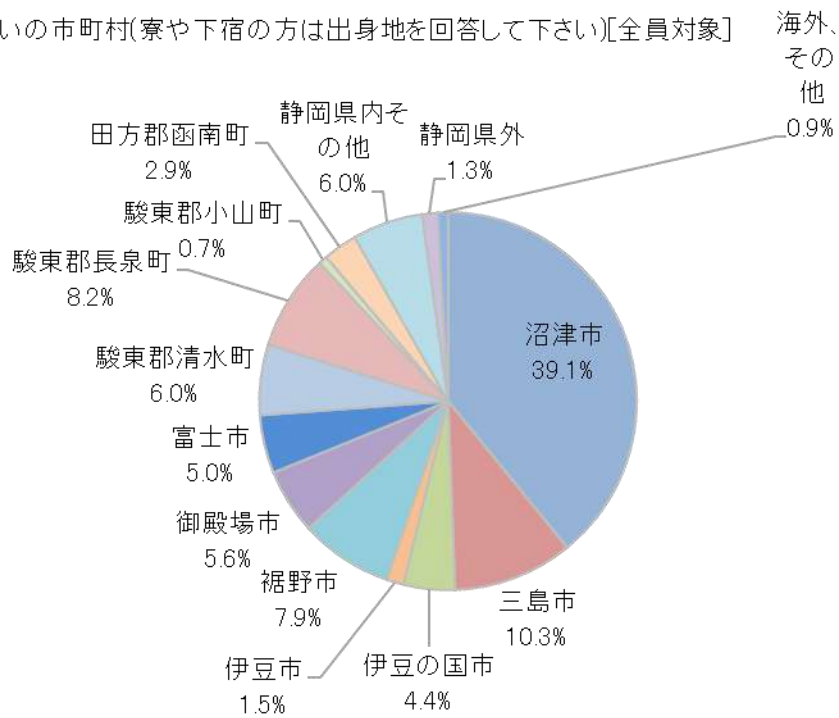
[Q2]性別
(n=680)



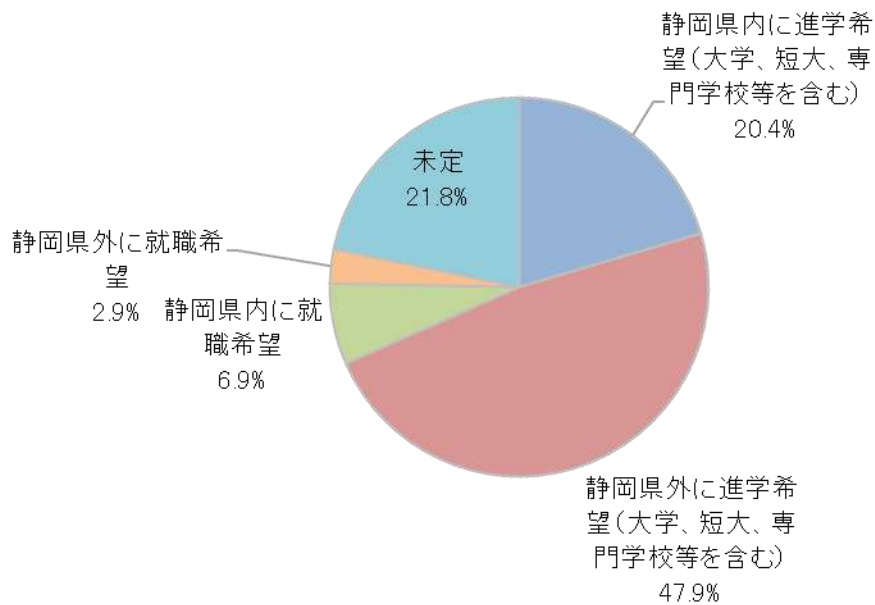
[Q3]所属する高校名[全員対象]
(n=680)



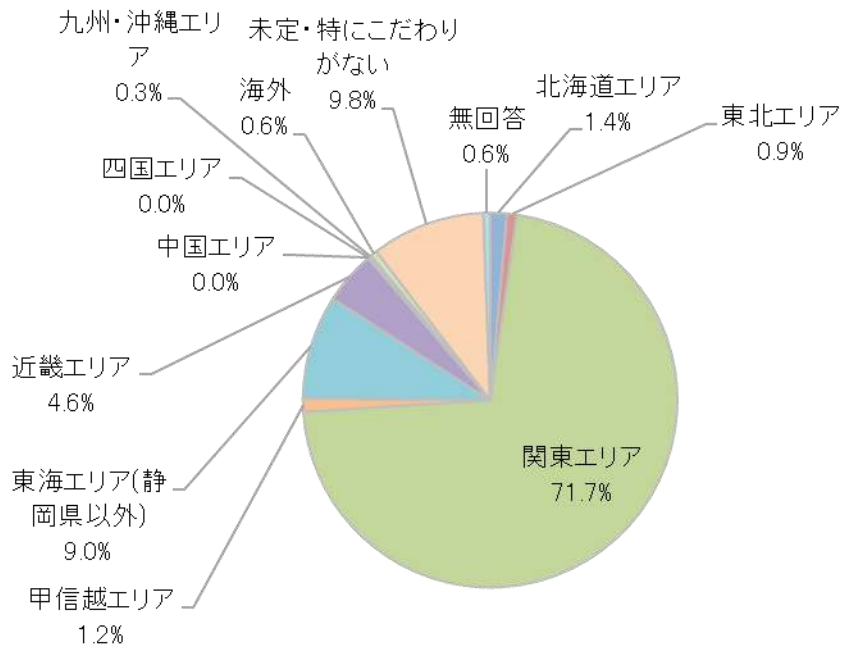
[Q4]お住まいの市町村(寮や下宿の方は出身地を回答して下さい)[全員対象]
(n=680)



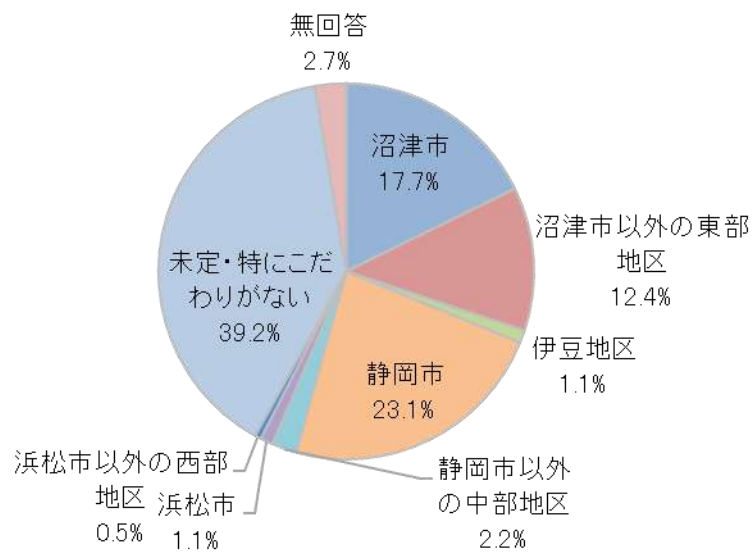
[Q5]希望の進路について[全員対象]
(n=680)



[Q6]静岡県外に進学または就職希望と回答した方に質問します。最も希望しているエリアを一つ教えてください
(n=346)

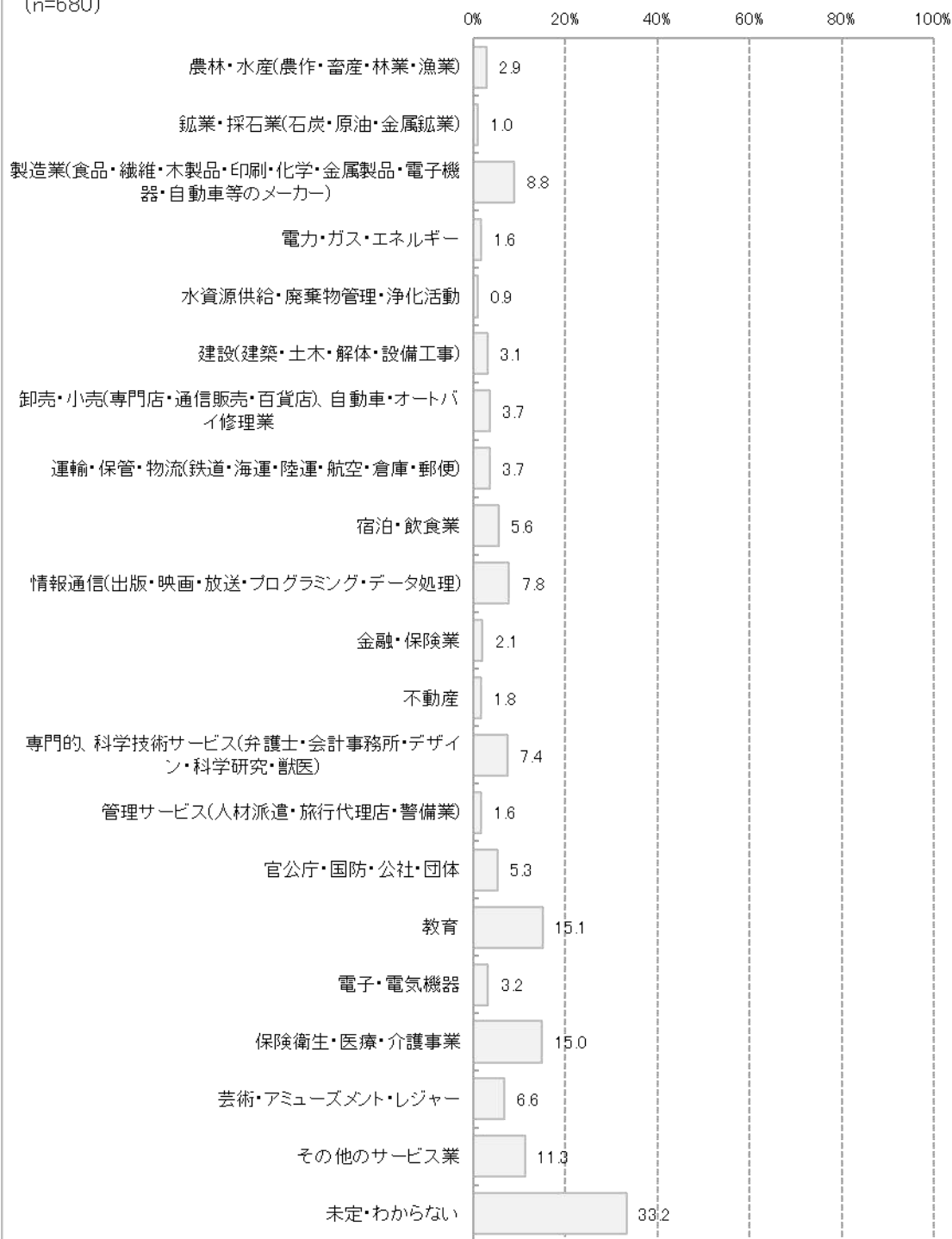


[Q7]静岡県内に進学または就職希望と回答した方に質問します。希望進路の所在している静岡県の地区を教えてください
(n=186)

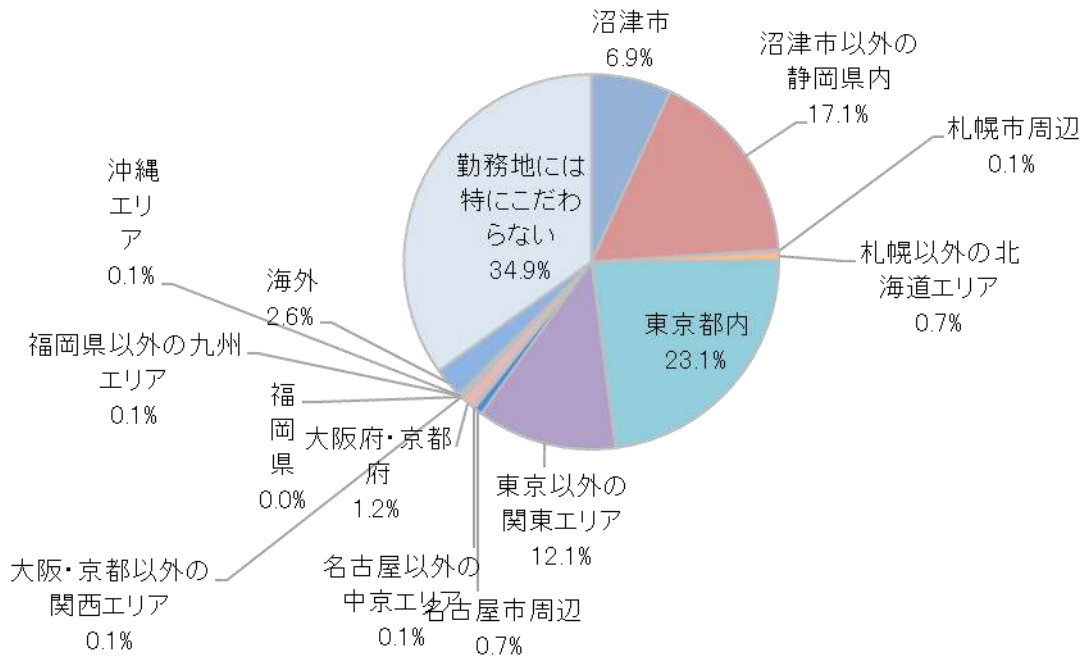


[Q8]将来または現在、就職を希望する(している)業界をすべて選んでください[全員対象]

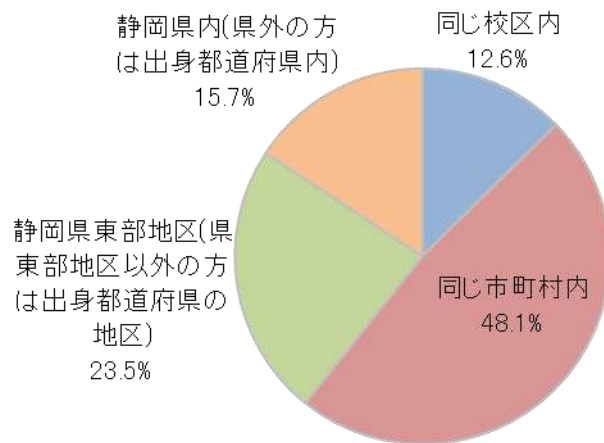
(n=680)



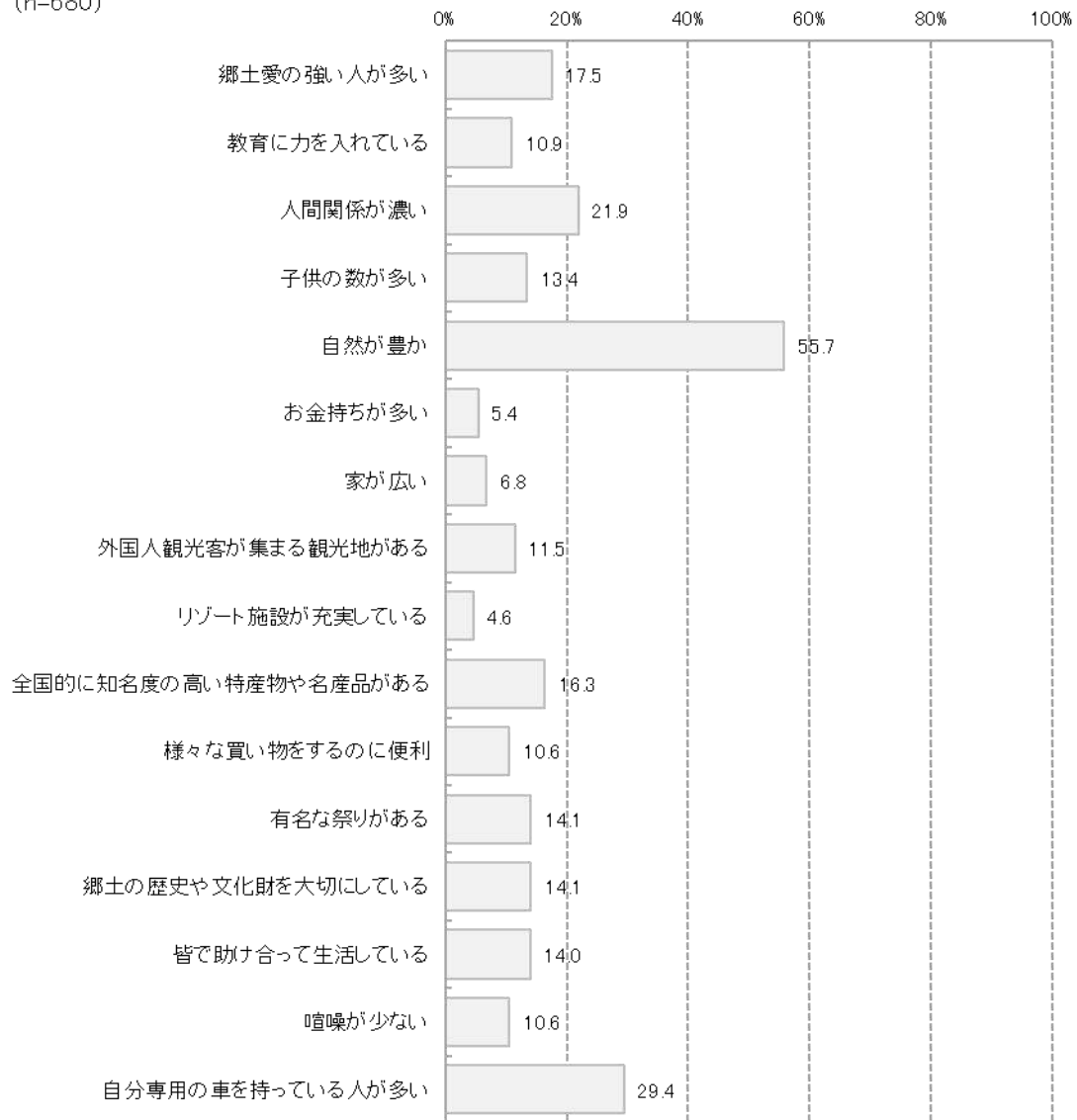
[Q9]現在、あなたが将来、最も働きたいと思う勤務地を一つお答えください[全員対象]
(n=680)



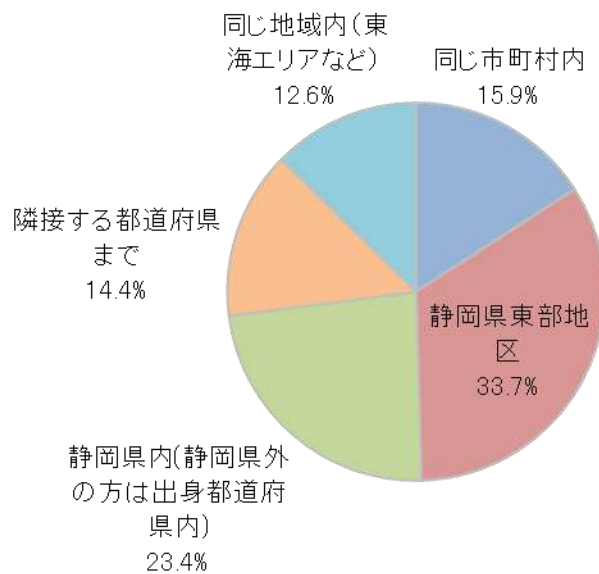
[Q10]あなたが「地元(Uターン先)」だと認識する範囲を教えてください。[全員対象]
(n=680)



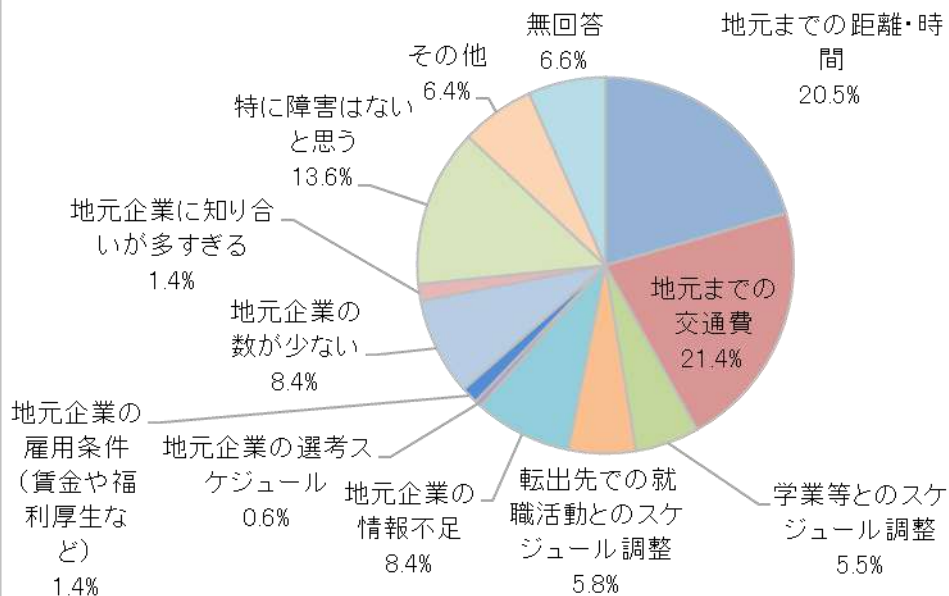
[Q11]あなたの地元の特徴について、あてはまるものをすべて選択してください[全員対象]
(n=680)



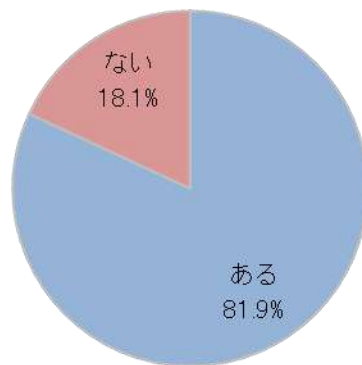
[Q12]地元(Uターン含む)就職を希望する場合、志望する企業の地域的範囲はどこまでになりますか。自宅を中心に勤務可能な地域を選択してください[全員対象]
(n=680)



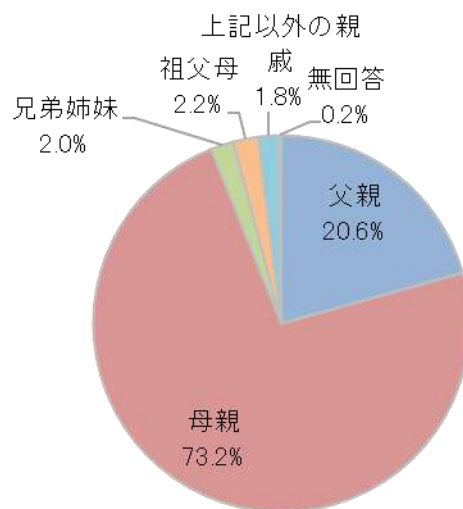
[Q13]静岡県外に進学または就職希望と回答した方に質問します。一度地元から離れると、地元企業への就職活動でどのようなことが障害になると思いますか。最も当てはまりそうなものを一つ選んでください
(n=346)



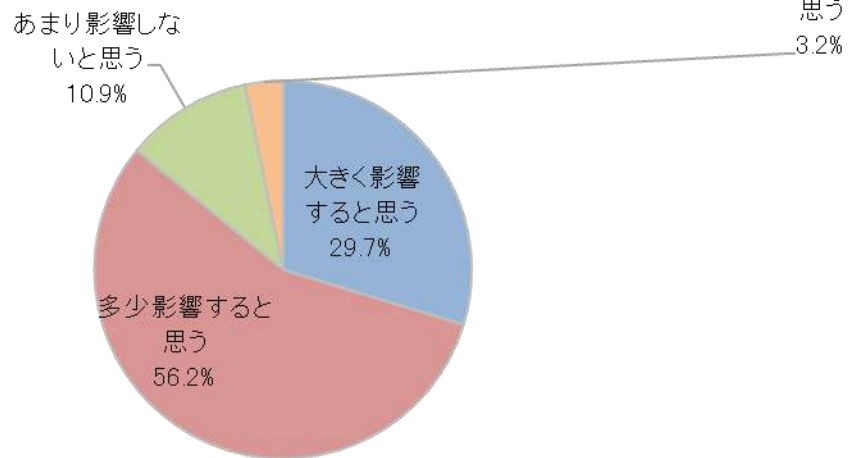
[Q14]就職先を決める際に、両親や親族に相談をする予定(またはすでに相談したこと)はありますか[全員対象]
(n=680)



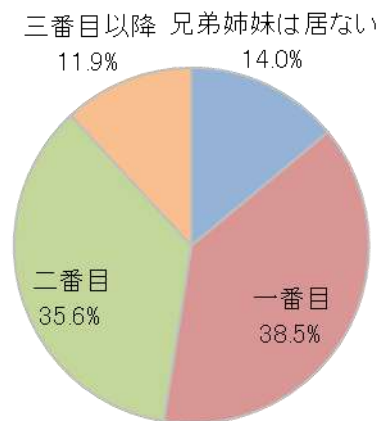
[Q15]Q14であると回答した方に質問します。主に親族の誰に相談しましたか
(n=557)



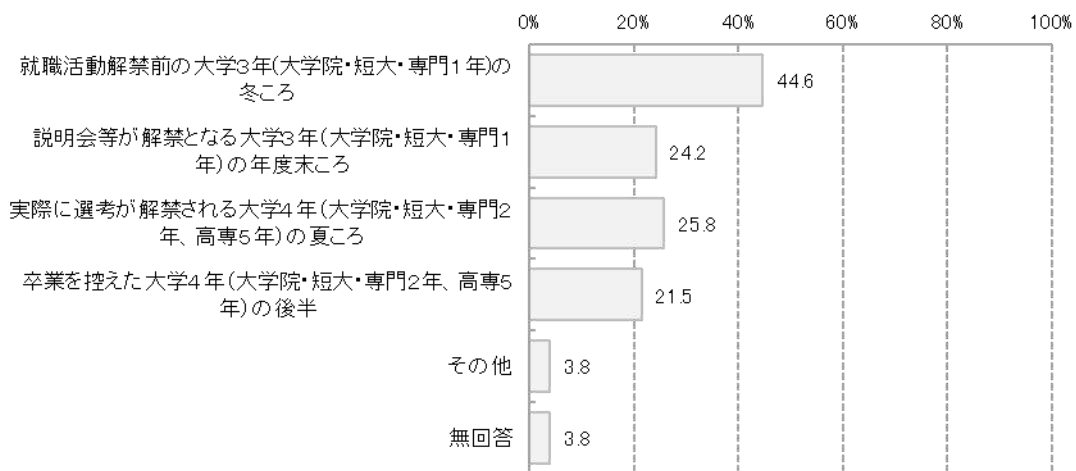
[Q16]両親や親族から就職のアドバイスを受けることが、どの程度就職活動に影響すると思いますか[全員対象]
(n=680)



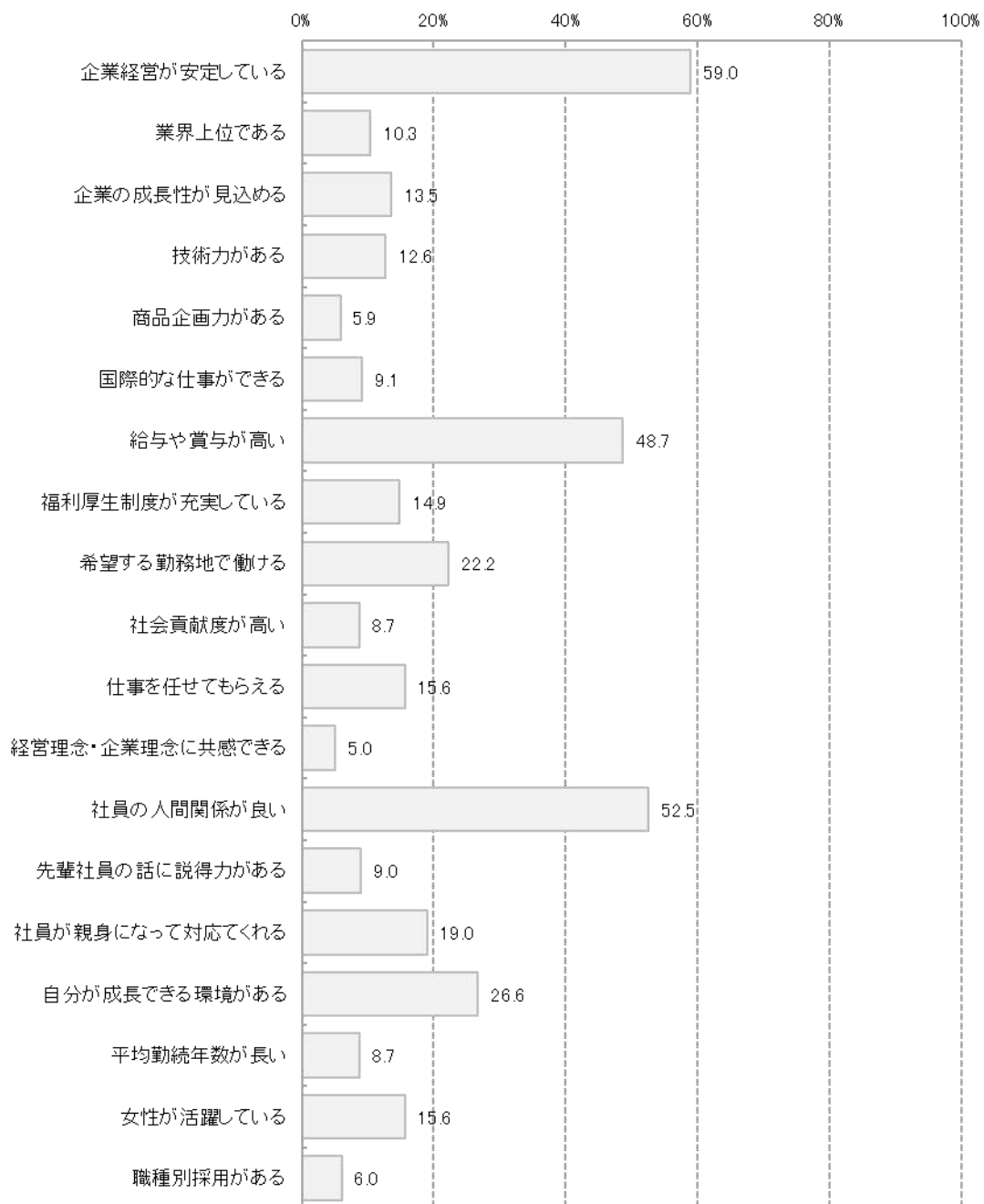
[Q17]兄弟姉妹において、あなたは何番目に当たりますか[全員対象]
(n=680)



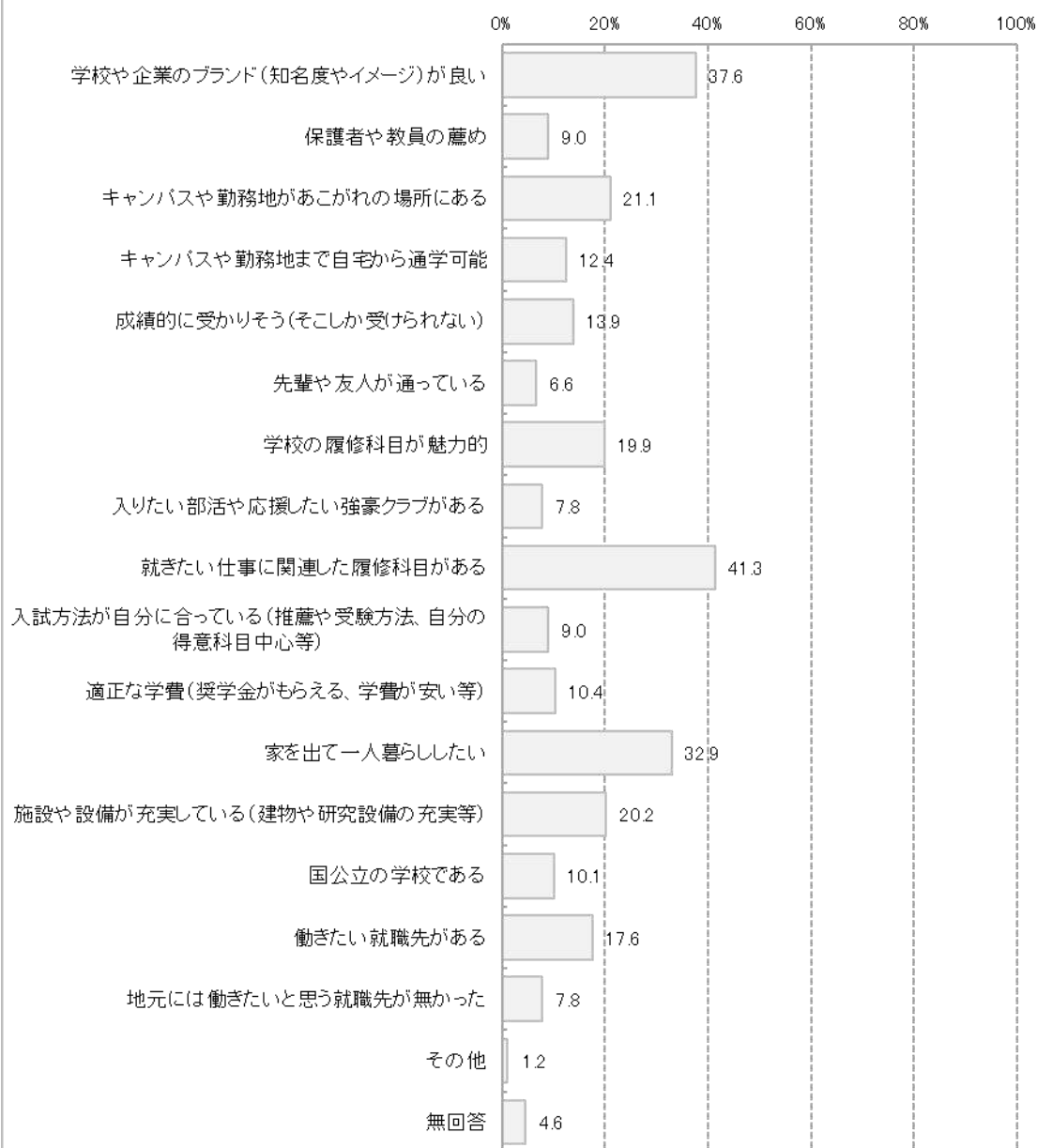
[Q18]静岡県内に進学または就職希望と回答した方に質問します。あなたが地元就職活動のために帰省しやすいと思うタイミングをすべて選択してください
(n=186)



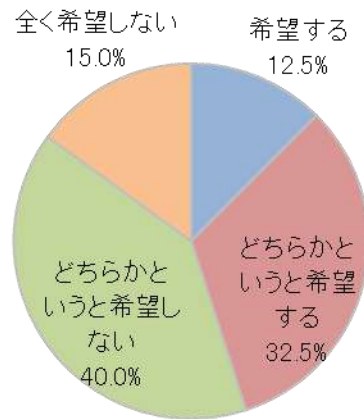
[Q19]就職先を選択する際、重要だと思うものを三つ選んでください[全員対象]
(n=680)



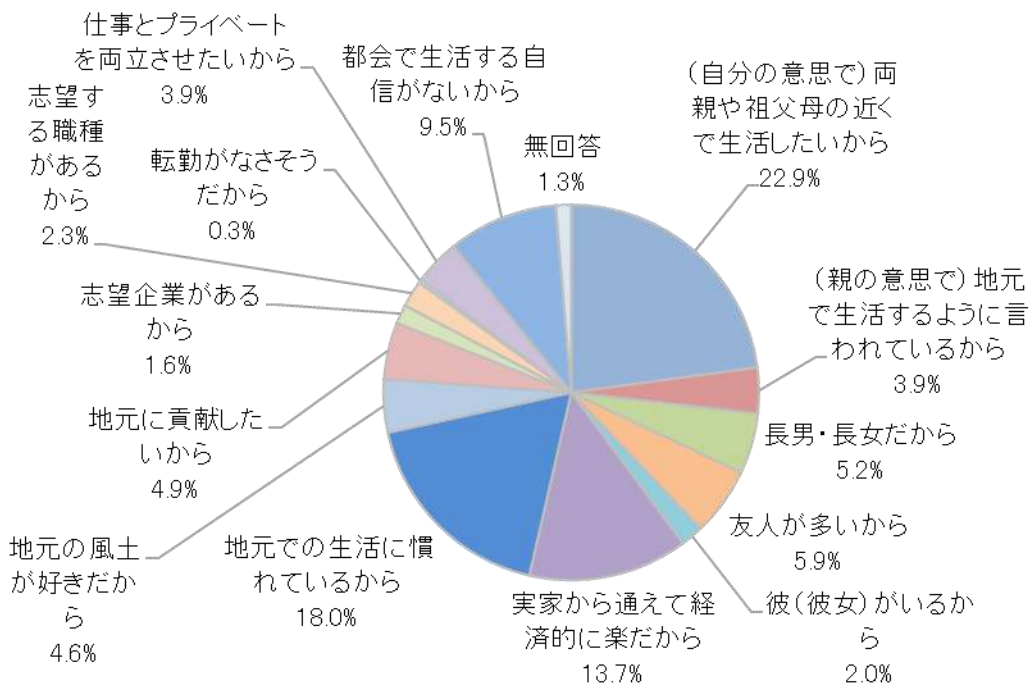
[Q20]静岡県外に進学または就職希望と回答した方に質問します。進路先を決定する理由に近いものを全て選択してください
(n=346)



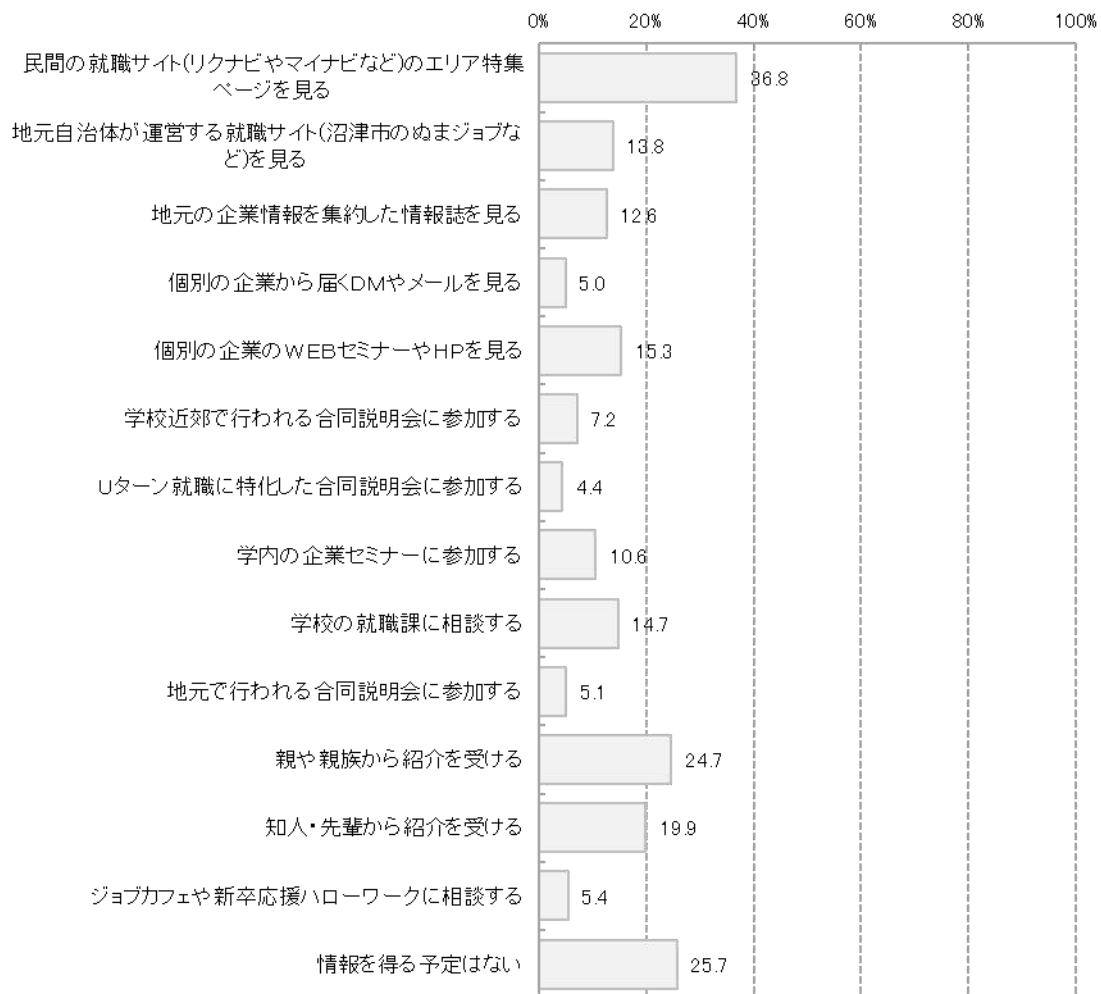
[Q21]現時点で地元(Uターン含む)就職を希望しますか[全員対象]
(n=680)



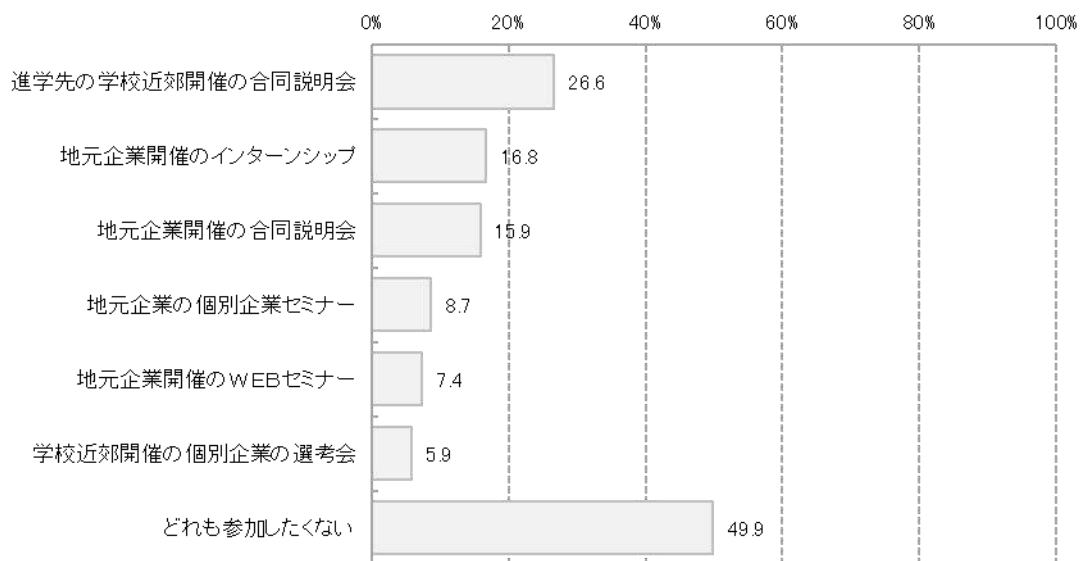
[Q22]Q22で「希望する」または「どちらかという希望する」と回答した方に質問します。地元(Uターン含む)就職を希望する理由は何ですか
(n=306)



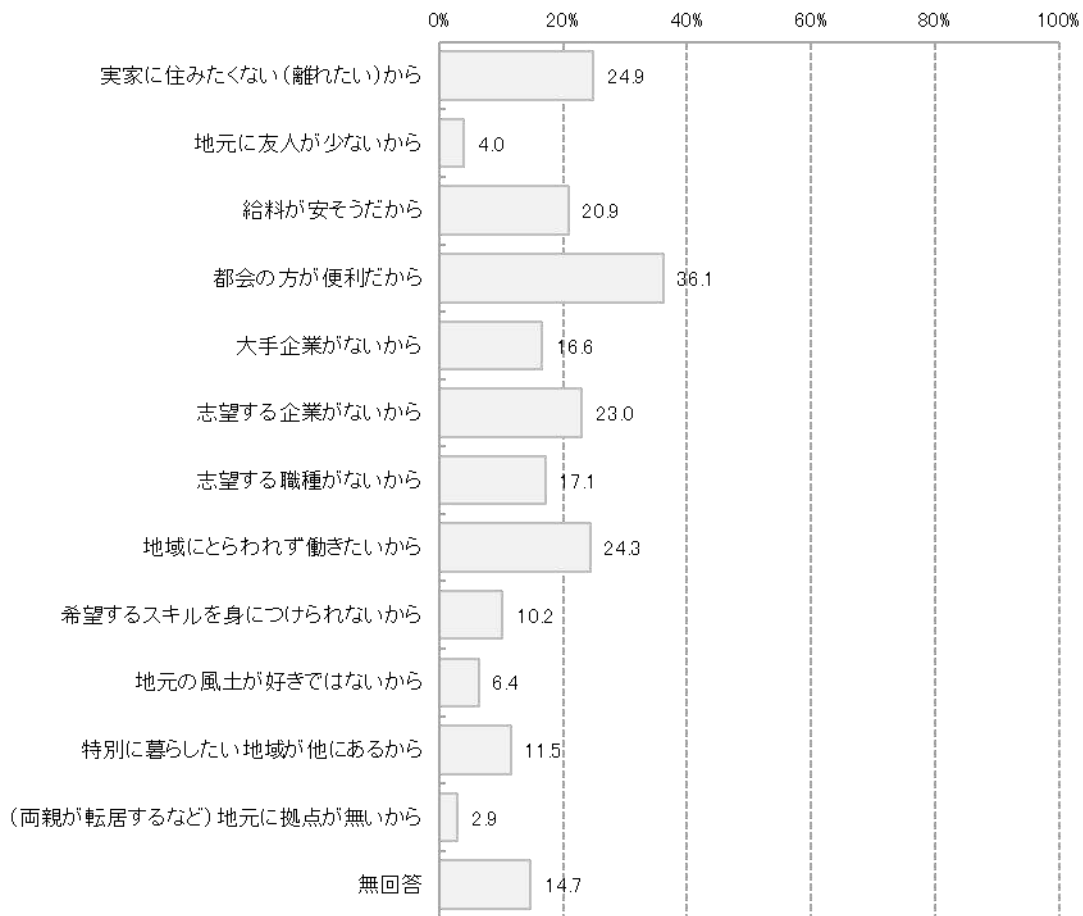
[Q23]どのような方法で地元の企業情報を得る予定ですか[全員対象]
(n=680)



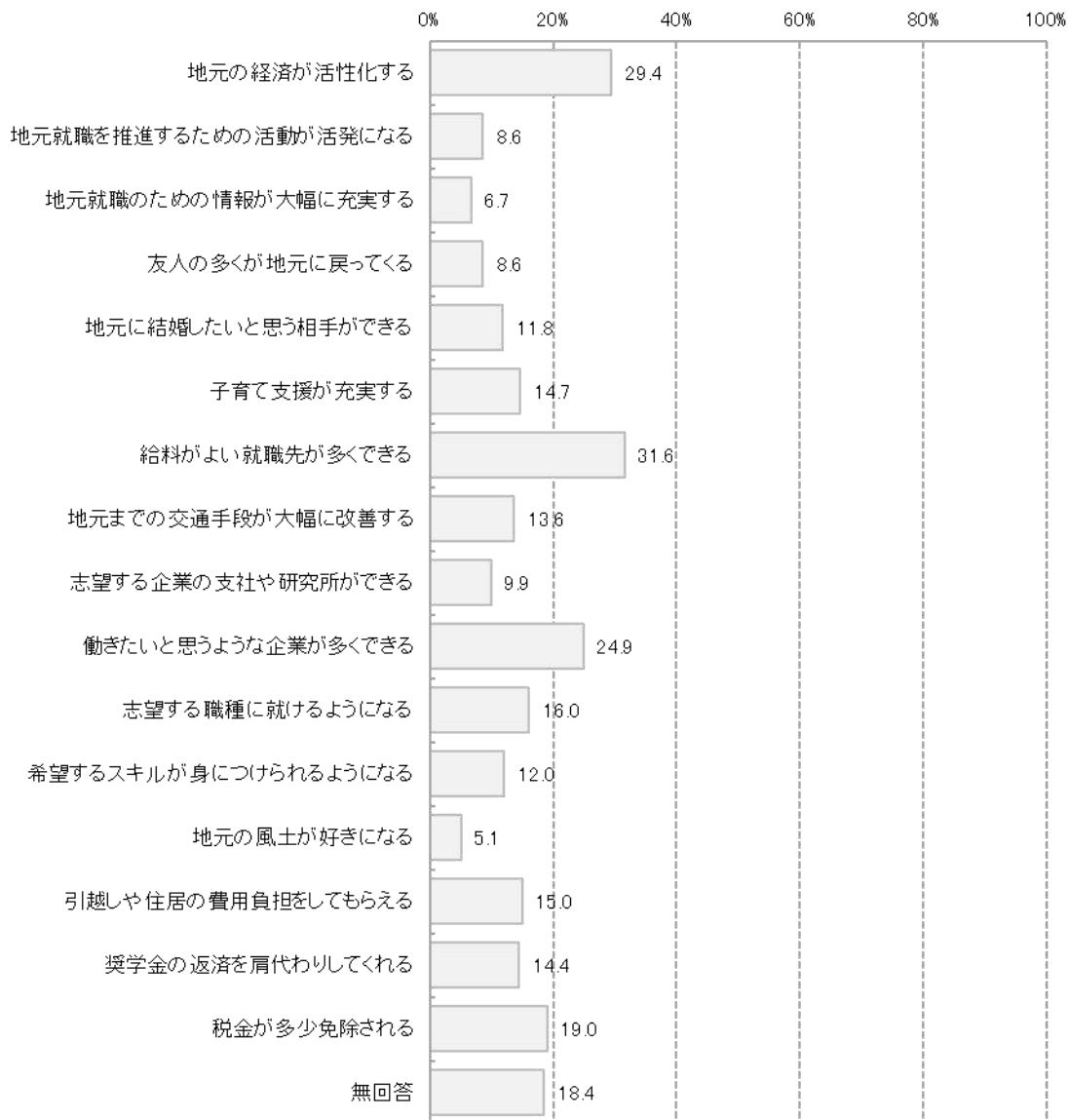
[Q24]地元企業の催しに参加したいと思いますか。参加したいと思うものすべてを選択してください[全員対象]
(n=680)



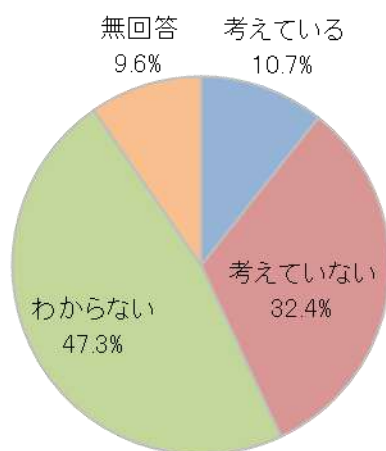
[Q25]Q22で「どちらかといえば希望しない」「全く希望しない」と回答した方に質問です。地元就職を希望しない理由は何ですか
(n=374)



[Q26]Q22で「どちらかといえば希望しない」「全く希望しない」と回答した方に質問です。実現すれば地元就職するかもしれないものを選択してください
(n=374)



[Q27]Q22で「どちらかといえば希望しない」「全く希望しない」と回答した方に質問です。将来的(遠い将来でも可)に地元就職を考えていますか
(n=374)



回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
1		治安を良くする
7		高架化を進め、朝通勤する際、渋滞を起こらなくした方が良い。
10	いいとおもう	
12		麻婆豆腐屋さんを作ろう。
19		みんながどのようなことを望んでいるのか市民の声を聞いたりするのがいいと思う。
20		魅力的な施設を作ってより生活しやすくする
22		動物園をつくる。 ららぽーとをはやく開業する。
24		就職できる企業を増やす。
29		特になし
30		給料上げる
31		実際に会社で働いてる若い人の声を直接聞く機会があれば地元で働くイメージが付きやすいと思います
32		交通機関をもうすこし使いやすくしたらいいと思います。
36		高架化をしてほしい
40		少ない給料でもある程度生活できる環境を整える
41		知名度のあるスーパー等を作る
47		ありません
55		ラブライブでの宣伝を拡大する
60		給料を高くする
66		地元で就職しやすい環境を整え、その情報を広く発信すれば私のような働く土地にこだわりのない人が地元就職をすることが多くなると思います。
69		残業をなるべく減らせるような会社を作って頂きたいです。
71		活性化
72		ラブライブだけをゴリ押しするのをやめて違う沼津市の魅力を発信した方が良くと思う。
82		地元企業の魅力をもっと知ってもら
87		給料を通常の倍にしたら自分だったら戻ってきますね。
91		給料増やす
100		特になし

104		特になし
回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
113		ありがとうございますのでためになった
115		就職したら何かしらのメリットがあるようにする。
118		何もないです
119		もっと頑張る
121		治安を良くする 痴漢や露出、不審者が多い
125		特になし
127		専門学校をつくる
132		給料の増加 ブランド店の増加
133		給料の増加 ブランド店の増加
144		大手を建てる
150		消費税 0%
156		なし
158		高い給料にすればいい
166		起業する人をもっとサポートする
168		働く場をつくる
171		もっと経済をまわす
177		仕事を増やす
181	会社を辞めた時	東京みたいににする
183		静岡を日本の中心にする。
190		セミナーをたくさん催す
191		もっといろいろな企業を増やす
194		他の市町村に劣っていると感じるならば、その分、沼津市ならではの、就活システムなどを作り、沼津で仕事をしたい！とおもえるような画期的なことをすれば良いと思う。そして、その画期的なシステムを作るために、沼津市で仕事をしている人や、学生に、こんなシステムがあったらいいのに、こんなところが沼津はダメだ、などという声を、アンケートすればいい。
196		電車の本数を増やす

198		特になし
回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
201		女性が働きやすい環境を作る
204		大手企業を増やす
205		様々な仕事を増やしていけばいいと思います。
215		個人的に、沼津市においては政治関係において充実した維持がなされていると思う。これは強みであり、また地元の能力的な胆力も大きい。 つまり、今後成長する伸び代としては、若者が住みやすく、そして老人との交流も多い、バリアフリーであり年齢差別が少ない都市づくりだと思う。 人がいるということは、そこにそれだけ人が集まるコネクションが存在するという。なので、現地の人々の能力を活かした活動も行うことが大事であろう。 また国際的な問題として、海外へ行ける大きなパイプも必須だと思う。この海外へ行けるパイプというのは、単純に海外の仕事や企画に気軽に参加できるという、「海外も沼津」という大きな都市として成長していく必要がある。 理想は難しい。だが現実には意外と簡単ではある。
227		街をもっと発展させる
234	職を失ったら。	給料が高くて、定時で上がれて、ボーナス額も高くて、人のいい上司がいて、自分にやりがいのある仕事なら誰でもくると思います。はい。
235		都市開発する
236		若者のつきたい職を大人が知る。
237		老人をどうにかしろ
244		大きな企業を取り入れる。 駅を改良する
248		増税反対
267		給料を高くする。 働く人の希望が通るようにする。
272		特に無し

275		もっと若い人たちが働ける場所を作る
回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
278		沼津の更なる活性化
287		仕事場が綺麗
297		もっと地域に密着した仕事を増やす例えば沼津の歴史的のものについての仕事
299		ブラック企業を潰してホワイト企業だけにする
302		パンフレットを作って配る
306		若い人の意見を多く取り入れる。
317		社員食堂無償や残業なし。 福利厚生をしっかりしている所
319		私がまだ小さかった頃の沼津市の方が栄えていた気がします。 沼津市が某アニメの聖地というだけでは物足りなく感じます。 あの頃の繁栄を取り戻すことの主張が大切だと思いました。
329	ともだちがしゃちょうになる	給与を増やす
332		友達が社長になる
345		もう少し活発的にいろいろ発展させた方がいいと思います。
351		わかりません。
352		給与アップ
358		若者を集める
362		大きな広告を作る
365		沼津市の特徴や良いところをあげていく
366		もっといろんな施設を作る
368	Uターンってなに？	沼津なんかで働きませーん
383		分らないです自分にはよく分らないですね
385		特になし
400		なし
407		特にない
426		ラブライブでお金を集めるのを辞める
431		地元の就職先を増やす。
436		賃金を高くする 職場を綺麗にする
439		ラブライブ

回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
445		私たちが、地元就職を希望する場合の理由は自分たちが住む街の助けとなるように働きたいと思うからだと思います。だから、企業だけでは出来ないサービスなどを市などの官庁と協力してできるようにすれば、私たち働く人々はやりがいを得られると思いますし、地元企業などの、就職も増えていくのではないかと思います。
449		より求人票が来るように学校の信頼を上げる
452		実際に沼津で働いている人の話が聞ける機会があればよいと思う
457		地元民への優遇措置
462	出産後	もっと企業を誘致すべき
463		特になし
465		沼津に若い人が増える。 そのためにも若い人が来そうなお店などを増やす。
466		地元の企業のことをよく知らないから、行事とかで何か活動するとかいいと思います。私は、もし地元で就職するなら大企業ではなく地元発信の企業がいいので地域のつながりや温かさを大切にすべきだと思います。 大企業なら、異動も考えられるので賃貸住宅などの生活のサポートがあってほしいですね。 私の住んでいる場所は車がないと生活できないので免許取得の援助があると嬉しいです。
468		インターネットで募集の告知を流す。
472		子育てのしやすい環境をつくり沼津に住む人を増やせば自然に、近くに就職する人が増えると思います
473		もっとホームページなどで情報を詳しく発信したほうがよいと思います。
475		福利厚生充実
479		支援金を出す
488		もっと、広告等を上手くつかって宣伝にもっと力を注いでいけば、希望する人は増えると思う。
490		みんなが協力し合っていける環境にしていけばいいと思う。
492		イベントを行う
500		特になし
502		ラブライブとコラボするのをやめてほしい。恥ずかしい。

回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
519		大きな商業施設をつくる
520		ない
521		地元就職することのメリットや、その企業が行っている福利厚生について説明する
523		特になし
526	派遣された時	
529	考えません	無い
530		地元の風土が好きになるようなプロジェクトを催す。
531		税金等で特別な待遇をする。
535		説明会等を参加しやすくする
539	特になし。静岡では働きたくない	特になし。
543		中都市なので程よい環境で働けます
546		沼津市民は採用されやすいようにする。
551		もっと、若者がやりたいような仕事を増やす
554		特にありません
555		仕事しやすい環境にする
556		情報が入手しやすくするための場所が必要。 学生でもどんな人でも入りやすいような場所。
557		ありません。
558		就職先を増やす
561		最低賃金ギリギリのところが多いのが難点だから、給料をなんとかする。 地元で有名なものを作り多くの観光客を呼び、需要と供給を良くする。
564		ラブライブ撤廃
568		特にありません
570		様々な人が興味を持つような施設を増やす。
575		地域おこし町おこし観光スポットを増やしてみる
578		特になし
579		がんばるしかない
584		電車の本数を増やす
593		有名にする

回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
598		暮らしやすい環境にする 土地を安くしたりするなど
600		土地を増やす ショッピングモールをつくる
605		市の活性化
606		猛る日本へ！
609		土地を増やす
610		なっしんぐとぅーまっち
614		もっとこのようなアンケートをすると良いと思いました。
615		沼津市内だけで、他県に行かなくても良い施設を多く建設すること。
616		スーパーやマンションが増えれば地元就職を希望する人も増えると思う
618		地元就職者が有利になるような雇用条件や進学条件の提示
623		沼津でする仕事の魅力的なところを考える
625		地元の企業が高校にうちはこんな会社ですとアピールしてくれればその中から気になる情報だけ時間をかけず得られるのでやって欲しいです
630		土地代をできるだけ安くし、就職しやすい環境を少しでも整えていくべきだと思う。 県内で企業の活性化が実現すれば、県内で就職したいと考える人が出てくると私は思う。
632		たくさんの職種を増やしたり、街を活性化させる 働きやすい環境にする (育児の面や金銭面など)
634		ららぽーと作る
635		地元就職する人への利点を多くする 交通や給料のことなど
643		都市開発
644		大手企業の誘致を積極的に行って欲しい。
647		企業が働きやすい環境をつくる。
648		何処に行くにも交通の不便さがあり 就職しにくい場所や職場近郊と内部の環境も互いが納得し合えるところがいいと思う

回答者 ID	Q28で「考えている」と回答した方に質問です。将来、どのような機会にUターンを考えるといますか 【回答を入力【 】】	沼津市で地元就職を希望する人を増やすためのアイデアがあれば、自由にお書きください 【回答を入力【 】】
650		人間関係を大切にしていこう。
652		沼津市で働く人にしかない特典的なものを作る
655		わからない
660		選択が多すぎる 回答するのめんどくさい
665		街のイメージを変えて沼津をなくした方がいいと思う
671		優遇されるとされると特別感があるので、例えば、就職するとお祝い金が出る。誕生日に粗品がもらえる等々 保育園(子育て支援)、老人施設での優遇
675		職業のバリエーションを豊富にする。 仲見世の活性化
676	夢やぶれて帰ってくる時	仲見世商店街を活性化させる
678		支援金
679	?	ないです

※不適切な表現を含む回答、意味が不明な回答は削除してあります